

令和5年度

掛川市二の丸美術館
掛川市ステンドグラス美術館
年報

掛川市二の丸美術館
掛川市ステンドグラス美術館

はじめに

令和5年度掛川市二の丸美術館・掛川市ステンドグラス美術館年報を刊行いたします。

令和5年度は外国人訪日客がコロナ禍前に戻りつつある時期でありました。日本政府観光局(JNTO)の訪日外客数調べによりますと、令和4年12月が137万人、令和5年6月が207万人、さらに同12月には273万人と急速に増え、令和6年3月には300万人を超えました。訪日客は東京、名古屋、京都などの大都市から各地に及んできています。

掛川市においても掛川市観光振興計画(令和元年から令和10年までの10年間で、令和4年に中間見直し)を策定しております。計画策定後は、市民の郷土愛の醸成、本市の観光産業や地域経済・地域コミュニティの活性化、また、それらの相乗効果による移住定住人口の拡大など、多方面に波及効果をもたらす事をねらいとしています。

美術館におきましても観光客と市民にとっての美術館であることが求められております。

さて、令和5年度は開館25周年ということで三回の特別展示を行いました。「花と鳥・美の競演－細密工芸・日本画・日本洋画－」展は館蔵品から花鳥をモチーフにした作品と静岡県立美術館から特別出品の花鳥画を加えて構成しました。親しみある花鳥のモチーフは各時代の作家により様々な表現を見ることができました。「画業50年・葉祥明原画展～しあわせの小径へ～」は絵本作家と知られる葉祥明の原画を紹介するもので数多くのファンの方々に鑑賞していただきました。京都・清宗根付館コレクション「－手のひらのミクロコスモス根付に遊ぶ－」展は古根付から現代にいたる芸術性の高い根付300点を展示し、根付の超絶技巧に目を見張る多くの愛好家の方々を魅了しました。年末年始にかけて開催した「ちょっと昔の暮らし展－道具と暮らしの移り変わり－」は昭和39年(1964)に開催された東京オリンピックの時代のファッション、食品、文具など現在まで親しまれている品々を紹介しました。小学校3年生を中心として、子供たちから大人まで楽しめる展示となりました。

木下コレクションの細密工芸品は「男も女も装身具Ⅱ」展(令和5年3月18日～5月14日)、「日本の伝統色とKOUGEIと」(令和6年3月9日～5月6日)を開催しました。

毎年、開催してきております「文化庁伝統文化親子教室」は人間国宝の方々をはじめとする伝統工芸作家の先生方のご協力をいただきまして、開催できました。根強い関心を持った参加者をいただいております。その他、ステンドグラス美術館の夜間開館も定着したファン層があることが知られます。来館される方々のそれぞれの楽しみ方で美術館が利用されている様子を知ることができます。

ロビースペースの改修は各種講座の開催、グッズショップの拡大など様々な活用されてきております。美術館の活動が従来の目的に加えて掛川市観光振興計画の策定後に期待されている「市民の郷土愛の醸成、本市の観光産業や地域経済・地域コミュニティの活性化、また、それらの相乗効果による移住定住人口の拡大」という目標に貢献できるような活動を今後一層高めてゆきますので、各界各層よりご指導ご助言いただけましたら幸いです。

令和6年7月

掛川市二の丸美術館
掛川市ステンドグラス美術館
館長 日比野 秀男

目次

①	二の丸美術館 展覧会一覧	1
②	二の丸美術館 展覧会	
1	男も女も装身具Ⅱ - 江戸から明治・大正期の技とデザイン	2
2	花と鳥・美の競演 - 細密工芸・日本画・日本洋画	5
3	画業50年 葉祥明原画展 - しあわせの小径	10
4	京都清宗根付館コレクション - 手の平のマイクロコスモス根付に遊ぶ	17
5	ちょっと昔の暮らし展 スケッチ画公募作品展	20
6	伝統工芸に息づく色〈木下コレクション〉 - 日本の伝統色とKOGEIと	27
③	教育普及活動	
1	スケッチ画公募・作品展	30
2	文化庁伝統文化親子教室	33
3	ナイトミュージアム・イルミネーション	35
4	ふらっと美術館プロジェクト (ワークショップ等ロビー活用)	37
5	ふらっと美術館プロジェクト ミュージアムコンサート	40
6	開館記念 無料開放日	43
7	美術館ライトアップ	44
8	ミニコンサート	44
9	企画展ギャラリートーク	44
10	作品解説サポーター研修	45
11	ミュージアムマーケット	45
12	かけがわ茶エンナーレ アートプロジェクト	45
13	あそべるミュージアム	46
④	ステンドグラス美術館 体験講座	47
⑤	調査研究	
1	館蔵資料保存・整理の状況	50
2	資料貸出・利用	51
3	資料修復	51
4	印刷物作成状況	51
⑥	管理運営	
1	入館者数統計	52
2	組織・決算	55
3	美術館協議会	57

報告 新たなる学校連携の試み



①令和5年度 二の丸美術館 展覧会一覧

No.	展覧会名	会期	開館 日数	入館者数(人)		
				有料	無料	計
1	男も女も装身具Ⅱ -江戸から明治・大正期の 技とデザイン-	4/1～5/14	41	1,220	989	2,209
2	花と鳥・美の競演 -細密工芸・日本画・ 日本洋画-	5/20～7/9	44	1,830	866	2,696
3	画業50年 葉祥明原画展 -しあわせの小径-	7/22～9/18	51	2,936	1,342	4,278
4	京都清宗根付館コレクション -手のひらのマイクロコスモス 根付に遊ぶ-	9/24～11/19	49	2,498	858	3,356
空調改修工事による休館 11/20～1/20						
5	ちょっと昔の暮らし展 スケッチ画公募作品展	1/27～3/3	32	2,712	1,006	3,718
6	伝統工芸に息づく色 〈木下コレクション〉 -日本の伝統色と KOGEIと-	3/9～3/31	20	515	745	1,260
令和5年度 計			237	11,711	5,806	17,517



②-1 掛川市二の丸美術館 開館25周年記念

男も女も装身具Ⅱ－江戸から明治・大正期の技とデザイン

1 概要

- (1) 会 期 令和5年4月1日（土）～5月14日（日）[開館日数 41 日間（令和5年度分）]
- (2) 会 場 掛川市二の丸美術館（第1展示室・第2展示室）
- (3) 入館料 高校生以上 500 円、中学生以下 無料

- (4) 入館状況 参考：令和3年度・4年度 会期合計数

		令和5年度 (41 日間)	目標数	達成率	令和4年度 (13 日間)	会期合計 (54 日間)
入館者数		2,209 人	3,075 人	71.8%	1,122 人	3,331 人
内訳	有料	1,220 人			793 人	2,013 人
	無料	989 人			329 人	1,318 人
1 日平均		54 人			86 人	62 人

- (5) 展覧会関連事業

◆着物で巡るアート&春ランチ

日 時 4月8日（土）10：00～12：00

会 場 二の丸美術館ロビー、二の丸御殿、大日本報徳社、竹の丸

参加者 16 人 ※満席

◆着物で来館のお客様観覧無料

期 間 会期中

入館者 153 人

◆島田市博物館相互交流企画

①両館の図録セット等販売（図録 36 セット販売）

②両館来場者特典進呈（二の丸 2 個進呈・島田 2 個進呈）

◆ギャラリートーク

①日 時 4月22日（土）

解 説 当館学芸員

参加者 16 人

②日 時 5月6日（土）

解 説 当館学芸員

参加者 14 人

2 経緯

二の丸美術館は、故木下満男氏よりたばこ道具をはじめ、印籠、刀装具、金工品、細密工芸品など約 2,300 点におよぶ作品と美術館建設資金の寄付を受け、平成 10 年 4 月に開館した。これら



の工芸作品を総称して「木下コレクション」と呼んでいる。木下コレクションは毎年テーマを定めて公開しているが、今年度は開館 25 周年にあたる特別な年であるため 25 年間の軌跡をたどりながら、基軸となる工芸作品「木下コレクション」を多くのお客様に見ていただいた。

今回は木下コレクションの中核を成す煙草道具に島田市博物館の櫛かんざしコレクションを添え、細密装身具を男女の観点から紹介した。島田市博物館は、島田髷や帯祭りの関連で櫛かんざしをはじめとした女性の装身具を多く所蔵している。櫛かんざし作品を加えることで、25 周年に相応しい華やかな色香を添えることができた。第 1 展示室では島田市博物館の櫛かんざし約 150 点を、第 2 展示室では「木下コレクション」より煙草道具約 150 点を展示し、多くの作品をご覧いただいた。

3 目的

二の丸美術館開館 25 周年記念の特別展。本来の二の丸美術館のあるべき姿を知っていただくことを目的として開催した。開館 25 周年に際して、二の丸美術館設立の基盤となった「木下コレクション」を多くの方に知っていただき、美術館の特色をより明確に告知することを目的としている。日本の美意識や伝統文化を再認識し、さらにこれらの作品を後世に継承してゆく責務も担っている。

4 体制

- (1) 主催 公益財団法人掛川市文化財団（掛川市二の丸美術館） / 掛川市
- (2) 後援 掛川市教育委員会 / 静岡新聞社・静岡放送 / 中日新聞東海本社
- (3) 協力 島田市博物館

5 参考 添付データ

(1) 主な展示作品

第 2 展示室（櫛かんざし・笄・鬘など約 150 点 ※島田市博物館所蔵品）

櫛	20 種	鬘	2 体
櫛笄揃い物	80 種	かんざし	40 種
化粧道具・鏡	2 種		

第 1 展示室（煙草入れ・きせる・きせる筒など約 150 点ほか細密小物 ※二の丸美術館所蔵品）

煙草入れ	60 種	きせる筒	30 種
きせる	40 種	印籠	20 種
鏝 鎖	8 種	ほか細密小物	



(2) 会期中の普及啓発活動 (チラシ 8,000 枚)



(3) 記録写真

エントランスバナー



第1展示室
女性の装身具



第1展示室
ガラスケース内



2F 後援掲示スペース



第2展示室
ガラスケース内



1F 解説カード・書籍販売コーナー



4/8 イベント (美術館観覧)



4/8 イベント (二の丸御殿にて)



4/8 イベント (竹の丸会食)





②-2 掛川市二の丸美術館 開館25周年記念

特別展 花と鳥 美の競演 -細密工芸・日本画・日本洋画-

1 概要

- (1) 会 期 令和5年5月20日(土)～7月9日(日) [開館日数 44日間]
- (2) 会 場 掛川市二の丸美術館 (第1展示室・第2展示室)
- (3) 入館料 高校生以上 500円、中学生以下 無料

(4) 入館状況

入館者数	1日平均	内訳		目標数	達成率
		有料	無料		
2,696人	61.3人	1,830人	866人	2,416人	111.6%

(5) 展覧会関連事業

◆展覧会関連講座「若冲の魅力－花と鳥展の展示作品から－」

日 時 6月3日(土) 14:00～15:00
 講 師 日比野 秀男 (当館館長)
 会 場 掛川市立中央図書館 会議室
 参加者 50人

◆作品解説

- ①日 時 6月11日(日) 14:00
 解 説 当館学芸員
 参加者 10人
- ②日 時 6月24日(土) 14:00
 解 説 当館学芸員
 参加者 15人

2 経緯

当館は開館25周年を迎え、花と鳥のテーマパークとして人気を集める掛川花鳥園は、同年開館20周年を迎えることから、老若男女に人気のある「花と鳥」をテーマに展覧会を企画。

25年間で当館が収集してきた日本画、細密工芸品、日本洋画に静岡県立美術館から、爆発的人気を誇る伊藤若冲の《樹花鳥獣図屏風》(高精細複製画)と大画面に広がる鶴の群れを描いた《群鶴図屏風》を併せ、花と鳥をテーマとした美術品の魅力を紹介する展覧会として開催した。

3 目的

「花」と「鳥」はその美しく愛らしいモチーフから、作品の画題としては広く人気がある。親しみやすいテーマを切り口に、当館収蔵品より日本画、工芸、油彩画といった多ジャンルの作品を選定し、これに加え静岡県立美術館から伊藤若冲ほか迫力のある屏風2作品を借用し、これまで



の当館の収集作品に関心を高めることを目的とする。また、同じく今年20周年を迎える掛川花鳥園に協力をいただき、地域の観光施設と連携することで周知・集客の相乗効果をねらう。

4 体制

- (1) 主催 公益財団法人掛川市文化財団（掛川市二の丸美術館）／掛川市
- (2) 後援 掛川市教育委員会／静岡新聞社・静岡放送／中日新聞東海本社

5 参考 添付データ

(1) 展示作品

第1展示室

作品名	作者	制作年	技法・材質
1 樹花鳥獸図屏風(高精細複製画)	伊藤 若冲	原本:江戸時代後期	紙本着色 ※1
2 象唐子遊技図手箱		明治時代	漆、金粉、象牙
3 鉄地神農図金銀象嵌手箱	銘 壽玉齋 一久 印	明治時代	鉄、金、銀、四分一、赤銅、素銅
4 象牙白鷺図螺鈿象嵌紙巻煙草入れ		明治時代	象牙、白蝶貝 他
5 蛤形鹿に薄図時絵小箱		明治時代～大正時代	漆、金粉
6 雪中猪図時絵印籠	銘 茂永	江戸時代後期	漆、金粉、銀粉
7 菊花尽くし図螺鈿時絵印籠		明治時代	漆、金粉、貝、根付:象牙
8 銀地芦雁図象嵌手箱	山口 一照	大正時代	銀、四分一、金

第2展示室

作品名	作者	制作年	技法・材質
9 群鶴図屏風	石田 幽汀	1757(宝暦7) -77(安永6)年	紙本金地着色 ※1 ※2
10 燕子花図屏風	大久保 一丘	江戸時代後期	紙本着色 ※1 ※2
11 四季花鳥図屏風	大久保 一丘	江戸時代後期	紙本着色 ※1 ※2
12 菊花軍鶏之図	山下 青崖	1938(昭和13)年	絹本着色
13 銀地飛鶴図花瓶	石川 勝信	1899(明治32)年	銀、四分一、赤銅、金
14 赤銅地牡丹図象嵌瓶掛け	桂 光春	大正時代	鉄、金、銀、四分一、赤銅、素銅 他
15 宋三彩劃花壺	山村 耕花	1921(大正10)年	絹本着色
16 桜	前田 青邨	不詳	絹本着色
17 芭蕉図時絵棚		大正時代	漆、金粉 他
18 薔薇	萩谷 巖	1960(昭和35)年前後	油彩・キャンバス
19 ばら	鈴木 信太郎	1989(平成元)年	油彩・キャンバス
20 ガラス器と花	中谷 泰	不詳	油彩・キャンバス
21 壺	前田 青邨	不詳	紙本着色
22 猫柳	福田 平八郎	昭和20年代	紙本着色
23 早春	奥村 土牛	1951(昭和26)年頃	紙本着色
24 桔梗	前田 青邨	不詳	紙本着色



25	洋壺	小倉 遊亀	1958(昭和33)年	紙本金地着色
26	カレア	堅山 南風	不詳	絹本着色
27	花	北澤 映月	不詳	紙本着色
28	鳩	高山 辰雄	昭和30年代	絹本着色
29	富士景物図象嵌手許筆筒 ふじけいぶつずどうがんでもとたんす	村瀬 祐珉	大正時代	金、銀、赤銅、四分一 他
30	鉄地金象嵌蓮図対花瓶 一对 てつじきんぞうがんにすずついかびん	京都駒井	江戸時代後期	鉄、金、銀、素銅、赤銅
31	桜霞図蒔絵印籠筆筒 さくらがすみ まきえいんろうたんす		江戸時代後期 ～明治時代	漆、金粉、銀粉
32	桜図蒔絵手箱 さくらまきえてぼこ	柳澤 一抱	大正時代	漆、金粉、銀粉、貝
33	菊桜流水に家紋図蒔絵提重 きくおうりゅうすい かもん ず まきえさげじゅう		江戸時代後期 ～明治時代	漆、金粉、銀粉
34	蛤形懐中時計 はまぐりがたいちゅうどけい	香川 勝廣	明治時代～大正時代	金、銀、赤銅
35	銀製鷹図象嵌香炉 ぎんせいたかづどうがんこうろ		大正時代	銀、金
36	藤に燕図象嵌水盤 ふじ つばめずどうがんすいばん	銘 光寿	江戸時代後期	銅、金、銀、四分一

(※1) 所蔵 《樹花鳥獸図屏風》、《群鶴図屏風》 = 静岡県立美術館
 《燕子花図屏風》、《四季花鳥図屏風》 = 掛川市
 (※2) 展示期間 《群鶴図屏風》 = 5月20日～6月18日
 《燕子花図屏風》、《四季花鳥図屏風》 = 6月20日～7月9日

(2) 会期中の普及啓発活動

①ポスター (B2/200枚)

チラシ〔左/表面、右/裏面〕 (A4/8,000枚)

講演会チラシ (A4/500枚)



クイズ (A4二つ折り/700枚)





③ 取材 静岡新聞・中日新聞



コレクション
かみ
4

中国、宋代の大がりの
白に仕上げたクワオウを
描いたこの作品は、今冬開
館20周年を迎える当館の最
初期の収蔵品である。
作者の山村花は、はじ
め彫形月光に青地絵をん

掛川市二の丸美術館
山村耕花「宋三彩刺花壺」(1921年)

た後、明治40(1907)
年に東京美術学校(現東京
芸芸大)を卒業。明治から
昭和にかけて、随分と日本
画壇で活躍し、浮世絵や放蕩
もかかっている。
掛川が活躍のとき、再興
目覚めるような花々
第9回日本美術院賞を受賞
した。この作品は、元は
三つと推定(三つ葉とい
であった)三つ葉は、すれ、
異なる色とそれにあやう花を
生じた構図で、幾多ながら
他の二種の存在は不明であ
るが、これはその一つの一

目覚めるような花々
このころ、華やかなクワシ
オウを盛り替り替り入れた
鳥

掛川市掛川1-1-2の1F(0537)62-
2061

「宋三彩刺花壺」は20日から9月1日まで開催
する「掛川市二の丸美術館開館20周年特別展「花と鳥」美の競演」
(伊藤若沖・日本画・日本洋画)に出展。

静岡新聞 5月19日(金)



掛川市二の丸美術館で、開館20周年の
開館20周年と掛川市二の丸美術館の開館20周
年を記念する特別展「花と鳥」美の競演
(中日新聞静岡本社)が開催されてい
る。七月九日まで。(中日新聞)

20周年の掛川花鳥園とコラボ展、動画も

掛川市二の丸美術館

花と鳥をテーマに、創立美
術館が所蔵する伊藤若沖の
「掛川花鳥園屏風」(日本画)
と、高橋信太郎の「花鳥園
(二の丸美術館開館20周年
特別展)」(日本洋画)の二
の丸美術館開館20周年特別
展「花と鳥」美の競演(7月9
日)とコラボ展を開催する。展
示は、タンチョウ、ペンギン
の絵をテーマにした展覧会
として、分りやすい解説を添え
ている。
「掛川花鳥園」は、
左側に数多くの鳥が描かれて
いる。O.K.O.ドームを思っ
て、作られた掛川花鳥園の
上、上層階が掛川花鳥園の
展示に活用されている。ハッ
ピロロロと花鳥園を堪能し
たい人の入館券も販売してい
る。鳥好きの人には嬉しいぞう
だ。
観覧料は一般五百円、中
学生以下無料、月曜休館。

中日新聞 5月26日(金)

花と鳥テーマ 工芸や絵画並ぶ 掛川・二の丸美術館

掛川市掛川二の丸美術
館で7月9日まで、開館25
周年記念特別展「花と鳥
美の競演—細密工芸・日本
画・日本洋画—」が開かれ
ている。同展の収蔵品の中
から花と鳥を表現した作品
を紹介するほか、県立美術
館が所蔵する伊藤若沖の
「掛川花鳥園屏風」の複製
も特別出品する。
展示室にはバラの油彩画
や桜の手箱など四季折々の
花を描いた作品が並び、6
月18日まで特別出品する石
田藤門の「群鶴図屏風」は
金地の背景に鶴の群れを描
いた大作。しなやかに首を
曲げる鶴や大きく羽を広げ
る鶴を画面いっぱいに描い
ている。
花と鳥をテーマにした展
覧会にちなみ、開館20周年
を迎える掛川花鳥園とのコ
ラボ企画も実施。花鳥園の
鳥の写真を提示したり、掛
川花鳥園屏風に登場する鳥
を詳しく紹介したりしてい
る。
入館料は高校生以上500
円。掛川花鳥園のチケット
半券を提示すると2割引
き。月曜休館。



伊藤若沖の「掛川花鳥園屏風」の複製を展示した
石田藤門の「群鶴図屏風」
掛川市二の丸美術館

静岡新聞 5月30日(火)

「花と鳥 美の競演」から樹花
鳥獣図屏風(高精細複製画)



特別展「花と鳥 美の競演—細密工芸・日本画
・日本洋画—」(掛川市) 20日~7月9日、掛
川の市二の丸美術館 ☎0537・62・2061。収蔵品か
ら花と鳥が表現された日本画、油彩画、工芸を紹
介。伊藤若沖の「樹花鳥獣図屏風」(高精細複製画)
も展示。開館20周年を迎える掛川花鳥園とのコ
ラボ企画も。500円、中学生以下無料。月曜休館。

朝日新聞 5月20日(土)



(3) 記録写真

外観 懸垂幕



エントランス後援表示



第1 展示室
《樹花鳥獣図屏風》と工芸作品



第2 展示室
日本画、工芸、油彩画



2F 通路掛川花鳥園
写真パネル展示



グッズコーナー
(花と鳥の手ぬぐい)



関連講座 (6/3)



作品解説(6/11、24)



花鳥園PRコーナー設置





②-3 掛川市二の丸美術館 開館25周年記念

特別展 画業50年 葉 祥明 原画展 -しあわせの小径へ-

1 概要

- (1) 会 期 令和5年7月22日(土)～9月18日(月・祝) [開館日数 51日間]
- (2) 会 場 掛川市二の丸美術館 (第1展示室・第2展示室)
- (3) 入館料 高校生以上 500円、中学生以下 無料
- (4) 入館状況

入館者数	1日平均	内訳		目標数	達成率
		有料	無料		
4,278人	83.9人	2,936人	1,342人	4,989人	85.7%

団体見学

- 9月6日(水) 掛川市立桜が丘中学校 1年生 43人
- 9月7日(木) 掛川市立第一小学校 2年生 122人
- 9月15日(金) 焼津公民館 地域福祉推進会 34人

(5) 展覧会関連事業

◆ふらっと美術館プロジェクト「葉 祥明氏によるギャラリートーク&サイン会」

開催日	ギャラリートーク		サイン会	
7月22日(土)	14:00～14:45	70人	15:00～15:45	65人
7月23日(日)	10:00～10:45	75人	11:00～11:45	65人

会場 掛川市二の丸美術館展示室・ロビー

◆ふらっと美術館プロジェクト「葉 祥明氏講演会&サイン会」

開催日	講演会		サイン会	
9月2日(土)	13:30～15:00	76人	15:15～16:00	90人

会場 掛川市立中央図書館 地下会議室・美術館ロビー

◆ふらっと美術館プロジェクト

「堀内 重見 氏(北鎌倉 葉祥明美術館館長) × 日比野 秀男 (当館館長) 対談」

日 時 9月18日(月・祝)

会 場 掛川市二の丸美術館ロビー

参加者 40人

2 経緯

当館は、1998(平成10)年に開館し本年4月に開館25周年を迎えた。開館以来、収蔵品の中核である細密工芸品、近代日本画の展覧会をはじめ、浮世絵、現代アート、掛川の歴史文化を伝える展覧会まで幅広く開催してきた。今夏、開館25周年記念特別展として、世代や性別を超えて多くの方に親しまれており、当館同様、今年節目の年を迎えた葉祥明氏の展覧会を開催する運びとなった。



3 目的

当館では、平成 30 年に開催した「永田 萌－夢みるチカラ－」以来の絵本作家による 2 回目の展覧会である。

葉 祥明氏は、1973 年『ぼくのべんちにしろいとり』でデビューし、今年画業 50 年を迎えた。半世紀に及ぶ創作活動では、平和や環境問題を扱った作品から人間の心に寄り添うメッセージ性のある作品まで様々なテーマに取り組んできた。本展では、絵本原画をはじめ油彩画、詩作品まで幅広く葉祥明の世界を紹介し、来館者に氏の 50 年の歩みをご覧いただきながら、心豊かなひとときを過ごしていただくことを目的とし開催した。

4 体制

- (1) 主催 公益財団法人掛川市文化財団（掛川市二の丸美術館）／掛川市
- (2) 後援 掛川市教育委員会／静岡新聞社・静岡放送／中日新聞東海本社
- (3) 協力 北鎌倉 葉祥明美術館

5 参考 添付データ

- (1) 展示作品

第 1 展示室

No.	作品名・書籍名	制作年または掲載年・掲載ページ	サイズ
第 1 章 葉 祥明 画業 50 年の歩み			
1	Style	1969 年	38.0 × 27.0cm
2	鳥	1983 年	27.0 × 38.3cm
3	LONE WOLF	1983 年	14.5 × 22.0cm
4	馬	1983 年	19.0 × 26.8cm
5	青年	1983 年	27.0 × 19.2cm
6	人は誰でも…	1990 年代後半	25.0 × 27.0cm
7	あなたは今日…	1990 年代後半	25.0 × 27.0cm
8	愛をくれたのは…	1990 年代後半	25.0 × 27.0cm
9	願わくば…	1990 年代後半	25.0 × 27.0cm
10	大切なのは…	1990 年代後半	25.0 × 27.0cm
11	母親というものは	1983 年	43.0 × 65.7cm
12	White Planet	1991 年	68.0 × 93.8cm
13	Rosy Evening	1991 年	50.0 × 72.7cm
14	Blue Herd ～蒼き群れ～	1980 年代後半	60.6 × 80.3cm
15	Fashion Illustration I	1968 年	55.0 × 46.0cm
16	PARIS MODE	1968 年	45.0 × 37.5cm
17	Fashion Illustration IV	1968 年	55.0 × 46.0cm
18	習作	1971 年	31.3 × 40.0cm
19	習作 NO. 1 ～絵本へ～	1972 年	40.0 × 31.7cm



No.	作品名・書籍名	制作年または掲載年・掲載ページ	サイズ
20	『ぼくのべんちにしろいとり』1973年刊行	表紙・P.12/13「ジェイクとしろいとりさん」	31.5 × 31.5cm
21		P.15	32.0 × 32.0cm
22		P.17「ぼくのべんちにしろいとりのおか」	32.0 × 32.0cm
23	Orange Forest	1990年代	20.5 × 41.0cm
24	春のせせらぎ	1988年	32.0 × 44.0cm
25	春のお迎え	1970年代	20.1 × 27.5cm
26	羊と草原	1990年代	28.5 × 45.0cm
27	トスカーナの祈り	2001年	28.0 × 45.0cm
28	青い水面	1990年代	38.3 × 54.2cm
29	『ぼくのおおいほし』1989年刊行	表紙	13.5 × 19.0cm
30		P.7	13.7 × 19.2cm
31		P.11	13.5 × 19.4cm
32		P.18	13.5 × 19.2cm
33	『全日空時刻表』	1985年1月号「やさしさの教会」	11.3 × 16.0cm
34		1990年12月～1991年1月「SNOW TOWN」	13.3 × 19.3cm
35		1991年3月号	13.5 × 18.5cm
36		1991年11月号「帰路」	13.5 × 19.0cm
37		1993年5月号「Heavenly Sky」	13.5 × 19.0cm
38		1993年9月号「ANA」	13.5 × 19.2cm
39	雑誌資料4冊	1975年11月号『いちごえほん』	
		1976年6月号『いちごえほん』	
		1990年6月号『詩とメルヘン』	
		1991年11月号『詩とメルヘン』	
40	風の旅	1982年	54.0 × 76.5cm
41	星の旅	1982年	54.0 × 76.5cm
42	黄金色の丘	1983年	54.0 × 76.5cm
43	花の旅	1982年	54.0 × 76.5cm

第2展示室

No.	作品名・書籍名	制作年または掲載年・掲載ページ	サイズ
第2章 社会問題を考える			
44	『地雷ではなく花をください』1996年刊行	表紙	32.4 × 24.0cm
45		P.16/17	32.0 × 43.8cm
46	『空気はだれのもの』1997年刊行	表紙	24.4 × 29.8cm
47		P.35	24.4 × 29.8cm



No.	作品名・書籍名	制作年または掲載年・掲載ページ	サイズ
48	『森が海をつくる』1997年刊行	表紙「木を植えよう」	25.0 × 30.0cm
49		P.36/37	25.5 × 54.5cm
50	『ジェイクと海のなかまたち』1998年刊行	表紙「ハロー！ジェイク」	24.5 × 30.0cm
51		P.16/17「ジェイクとたくさんの仲間たち」	25.0 × 54.0cm
52	『あの夏の日』2000年刊行	表紙「あの夏の日」	31.3 × 23.0cm
53		P.28/29	32.2 × 44.2cm
54	『美しい朝に』2011年刊行	表紙	13.5 × 19.6cm
55		P. 7	13.4 × 19.1cm
56		P.20	13.6 × 19.1cm
57		P.26	13.5 × 19.3cm
58		P.32	13.5 × 19.2cm
59	『イルカの星』1996年刊行	表紙「イルカの星」	38.2 × 54.3cm
60		P.28/29	31.0 × 49.7cm
61		P.30/31	31.0 × 49.7cm
第3章 自分を見つめる			
62	『とべ！ジェイムズ』2023年刊行	表紙	26.3 × 22.6cm
63		扉	24.9 × 26.5cm
64		P. 2 / 3	29.2 × 49.8cm
65		P. 5	25.5 × 26.0cm
66		P. 7	22.6 × 25.0cm
67		P. 9	27.0 × 27.0cm
68		P.11	21.7 × 24.7cm
69		P.13	26.4 × 24.8cm
70		P.15	24.3 × 24.6cm
71		P.17	22.8 × 25.0cm
72		P.19	23.0 × 24.6cm
73		P.21	26.5 × 27.0cm
74		P.23	25.0 × 24.5cm
75		P.25	24.5 × 27.0cm
76		P.26/27-P.28/29	24.0 × 49.7cm
77		P.30/31	24.4 × 49.6cm
78		P.32	25.0 × 25.0cm
79	『しあわせってなあに？』2002年刊行	表紙／P31「ジェイクとグレイス」	25.0 × 30.0cm
80		P.14	25.2 × 29.7cm
81		P.18	25.2 × 30.0cm
82		P.23「ジェイクとレイナ」	25.0 × 30.0cm
83		P.37「ジェイクとグレイスのやすらぎ」	25.0 × 30.0cm



No.	作品名・書籍名	制作年または掲載年・掲載ページ	サイズ
84	『Life is…』2018年刊行	表紙「Life is…」	19.0 × 16.3cm
85		P.6/7「春のお知らせ」	38.5 × 54.5cm
86		P.26/27「妖精の棲む森」	21.0 × 41.5cm
87		P.30「真夜中」	31.0 × 43.0cm
88		P.58/59「レモン色の夢」	27.5 × 43.5cm
89		P.60/61「道 ラ・ストラダ」	25.2 × 45.2cm
90	『しあわせの小径』2022年刊行	表紙	17.2 × 15.2cm
91		P.34/35「ひとり林に」	29.0 × 44.4cm
92		P.38/39「Utopia Hill」	27.3 × 38.2cm
93		P.60/61「夕陽の中の自転車」	30.3 × 42.5cm
94		P.62/63「木立への道」	23.4 × 22.4cm
95	絵筆等		
96	絵本エスキース	イルカの星	

(2) 会期中の普及啓発活動

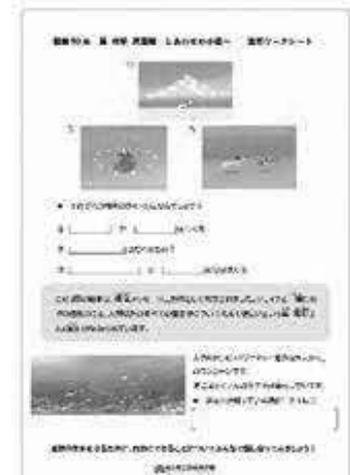
①ポスター (B 2/200枚)

チラシ〔左/表面、右/裏面〕 (A 4/8,000枚)

対談チラシ (A 4/300枚)

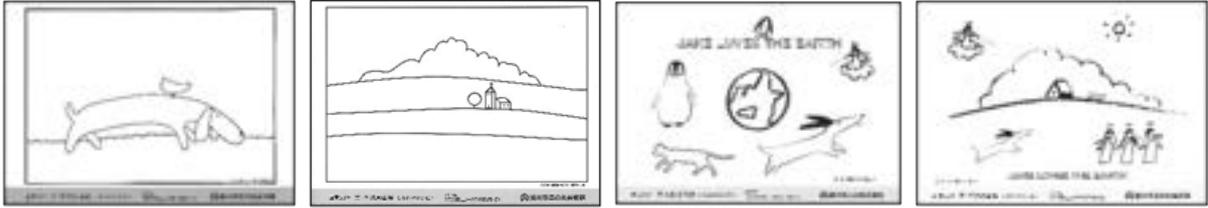


②ワークシート (A 4 3種類/各 500枚)

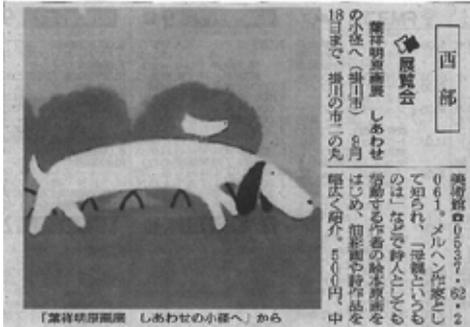




③ぬり絵 (B5 4種類/各500枚)



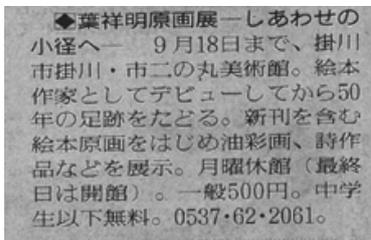
(2) 取材



朝日新聞 7月29日 (日)



中日新聞 8月27日 (日)



読売新聞 8月25日 (金) イベントガイド



フリーペーパー道の駅 VOL.10/2023



広報かけがわ 7月号



(3) 記録写真

外観 懸垂幕



エントランス後援表示



撮影コーナー



第1展示室



第2展示室



2F 通路



ギャラリートーク (7/22、23)



講演会 (9/2)



ぬりえ&折紙コーナー





②-4 掛川市二の丸美術館 開館25周年記念

特別展 京都清宗根付館コレクション—手のひらのマイクロコスモス 根付に遊ぶ—

1 概要

- (1) 会 期 令和5年9月24日(土)～11月19日(日) [開館日数 49日間]
- (2) 会 場 掛川市二の丸美術館 (第1展示室・第2展示室)
- (3) 入館料 高校生以上 500円、中学生以下 無料
- (4) 入館状況

入館者数	1日平均	内訳		目標数	達成率
		有料	無料		
3,356人	68.5人	2,498人	858人	4,755人	70.6%

(5) 展覧会関連事業

- ◆ふらっと美術館プロジェクト ワークショップ「集まれちびっ子 根付制作にチャレンジ！」
 - 日 時 10月14日(土) 13:30～16:00
 - 講 師 及川空観氏(根付作家)・大西弘祐氏(清宗根付館学芸課長)
伊達淳士氏(清宗根付館主任学芸員)
 - 会 場 大日本報徳社 仰徳記念館、二の丸美術館ロビー
 - 参加数 小学1年生～6年生 19人
- ◆ふらっと美術館プロジェクト「根付師と巡る美術館&秋のお茶会」
 - 日 時 10月15日(土) 10:00～12:00
 - 講 師 及川空観氏(根付作家)・大西弘祐氏(清宗根付館学芸課長)
伊達淳士氏(清宗根付館主任学芸員)
 - 会 場 二の丸美術館・竹の丸座敷
 - 参加数 15人
- ◆着物での来館者 ステンドグラス美術館のチケット付き 500円で提供
 - 参加数 31人
- ◆ふらっと美術館プロジェクト「根付スゴロク in 遊べるミュージアム」
 - 日 時 10月29日(土)
 - 会 場 二の丸美術館ロビー
- ◆根付を着けて記念写真を撮ろう！
 - 参加数 30人
- ◆根付解説「観る・知る・楽しむ 根付の世界へナビゲート」
 - 解 説 当館学芸員
 - 参加数 12人

2 経緯

京都清宗根付館は2007年に開館。当館とも関連性の深い「根付」を専門とする美術館として、開館当初より交流を重ねてきた。二の丸美術館では開館の5周年ごとに特別展覧会を催しており、



10周年の「櫛かんざし展」、15周年の「印籠展」、さらに20周年の「櫛かんざしと煙草入れ展」に引き続き、この25周年記念でも同様の細密工芸品に焦点を当てた。それが今回の京都清宗根付館コレクション「根付展」であった。清宗根付館では、根付の存在を広く知らしめるべく教育普及活動も兼ねて、自館の作品を多方面に告知・展覧することに力を注いでいる。このような経緯も踏まえた上で清宗根付館にご協力いただき、収蔵品約6,000点のうち400点に上る作品を借用することが可能となった。

3 目的

「根付」の存在は、清宗根付館のみならず当館収蔵の細密工芸品にも多くの共通点がある。なぜなら根付は、収蔵品の煙草入れや印籠などの袋物に不可欠な存在だからである。制作された時代は違えども、江戸から脈々と続く長い歴史があり、清宗根付館の作品と当館の作品は同じ歴史の同一線上に並んでいる。清宗根付館と当館の共通点を見出すことで、特色ある美術館の存在を広く告知するとともに根付をより多くの方々に鑑賞いただくことを目的とした。これは昨今メセナ事業に力を注いでいる清宗根付館の意図するところでもあった。両美術館の連携により、二の丸美術館の基本と本来あるべき姿をあらためて再考する機会となった。

4 体制

- (1) 主催 公益財団法人掛川市文化財団（掛川市二の丸美術館）／掛川市
- (2) 後援 掛川市教育委員会／静岡新聞社・静岡放送／中日新聞東海本社
- (3) 協力 京都清宗根付館／佐川印刷株式会社／SGムービング株式会社

5 参考 展示作品 / 添付データ

(1) 展示作品

- ① 京都清宗根付館所蔵 現代根付 401点
- ② 根付作家 及川空観氏所蔵の根付制作道具一式
- ③ 二の丸美術館所蔵 現代根付 3点、煙草入れ 2点、印籠 6点

展示総数 412点

(2) 会期中の普及啓発活動

- ① ポスター・チラシ・リーフレット・募集チラシ

ポスター（B2/200枚）チラシ〔左/表面、右/裏面〕（A4/10,000枚）





10月14日 ワークショップチラシ



10月15日秋の茶会チラシ



三つ折りリーフレット 5,000 枚

② 取材・広報等

9月：静岡朝日テレビ取材

10月：中日新聞記事掲載／NHK静岡放送テレビ取材

静岡新聞記事掲載（半5段 あそべるミュージアムと合わせて）

文楽里記事掲載

(3) 記録写真

エントランス後援表示



第1展示室 全体



第2展示室 ガラスケース



10月14日 ワークショップ



10月15日秋の茶会



講師解説





②-5 令和4年度 掛川市二の丸美術館展覧会

ちょっと昔の暮らし展 - 道具と暮らしの移り変わり -

1 概要

- (1) 会 期 令和6年1月27日(土)～3月3日(日) [開館日数 32日間]
- (2) 会 場 掛川市二の丸美術館 (第1展示室・第2展示室)
- (3) 入館料 高校生以上 200円、中学生以下 無料
- (4) 入館状況

入館者数	1日平均	内訳		目標数	達成率
		有料	無料		
3,718人	116.2人	2,712人	1,006人	2,630人	141.4%

(5) 展覧会関連事業

◆ふらっと美術館プロジェクト「ロビーレクチャー」

日 時 2月18日(日) 14:00～15:00

会 場 掛川市二の丸美術館ロビー

参加者 20人

◆ギャラリートーク

日時	参加者
1月31日(水)	5人
2月3日(土)	15人
2月10日(土)	13人
2月14日(水)	5人

会 場 掛川市二の丸美術館展示室

◆オンライン授業

日時	実施学校名	生徒数
2月14日(水) 13:15～14:00	掛川市立中小学校	18人
2月15日(木) 13:25～15:15(5・6時間目)	静岡県立横須賀高等学校	14人
2月19日(月) 9:50～11:40(2・3時間目)	静岡県立横須賀高等学校	18人
2月20日(火) 10:50～12:40(3・4時間目)	静岡県立横須賀高等学校	19人

2 経緯

市内の小中学生に美術館に足を運んでもらう機会、または知ってもらう機会となるよう、令和元年度以来4年ぶりに、小学校3年生の社会科の学習指導要領「昔の道具とくらし」に対応した企画として計画し、開催した。

3 目的

児童の祖父母・父母世代の子どもの頃の生活の様子を身近にある生活道具や文房具、お菓子の



パッケージデザインを用いて紹介した。道具や暮らしの変化の紹介だけではなく、デザインの変化にも焦点を当てることで、教科書の内容を実際に自分の目で見て学ぶと同時に、新たなデザインを創り出す楽しさを感じてもらうことを目的に開催した。

4 体制

- (1) 主催 公益財団法人掛川市文化財団（掛川市二の丸美術館）／掛川市
- (2) 後援 掛川市教育委員会／静岡新聞社・静岡放送／中日新聞東海本社

5 参考 添付データ

- (1) 展示作品

第1展示室

No.	資料または作品名	時代	所蔵者	備考
第1章 躍動する日本				
1-1 東京オリンピック				
1	東京オリンピックポスター1号	1961(昭和36)年	藤枝市郷土博物館・文学館蔵	
2	東京オリンピックポスター2号	1962(昭和37)年	藤枝市郷土博物館・文学館蔵	
3	東京オリンピックポスター3号	1963(昭和38)年	藤枝市郷土博物館・文学館蔵	
4	東京オリンピックポスター4号	1964(昭和39)年	藤枝市郷土博物館・文学館蔵	
5	1964年 オリンピック東京大会 会場案内地図	1964(昭和39)年	焼津市歴史民俗資料館蔵	
6	1964年 オリンピック東京大会 ポストカード	1964(昭和39)年	焼津市歴史民俗資料館蔵	
7	雑誌『週刊サンケイ臨時増刊 東京オリンピック1964』	1964(昭和39)年	焼津市歴史民俗資料館蔵	
8	雑誌『アサヒグラフ 増刊 東京オリンピック』	1964(昭和39)年	焼津市歴史民俗資料館蔵	
9	雑誌『東京オリンピック』	1964(昭和39)年	焼津市歴史民俗資料館蔵	
10	64東京オリンピック	1964(昭和39)年	焼津市歴史民俗資料館蔵	
11	1964年 東京オリンピック記念硬貨	1964(昭和39)年	個人蔵	カルピス
12	オリンピック・ハイライトソノシート	1964(昭和39)年	当館蔵	
13	ギリシャのボクちゃん	1964(昭和39)年	当館蔵	
1-2 1970年 大阪万博				
14	日本万国博覧会 公式ガイド	1970(昭和45)年	焼津市歴史民俗資料館蔵	
15	太陽の塔 オブジェ①	1970(昭和45)年	個人蔵	
16	太陽の塔 オブジェ②	1970(昭和45)年	個人蔵	
17	ナショナルほうや(インド)	1970(昭和45)年	個人蔵	
18	ナショナルほうや(スイス)	1970(昭和45)年	個人蔵	
19	ナショナルほうや(ソ連)	1970(昭和45)年	個人蔵	
20	記念切手・記念硬貨他 各種資料	1970(昭和45)年	個人蔵	
華やかな花柄 魔法瓶から電気ポットへ				
21	エヴェレストA型チャック	1967(昭和42)年頃	当館蔵	ナショナル魔法瓶
22	エヴェレスト花柄魔法瓶	1967(昭和42)年頃	当館蔵	ナショナル魔法瓶
23	孔雀印 ピーコック魔法瓶	1968(昭和43)年	当館蔵	ピーコック魔法瓶
24	タイガー ハニーポット	1968(昭和44)年	当館蔵	タイガー
25	ナショナル魔法瓶(エベレスト)エアポット	1972(昭和44)年	当館蔵	ナショナル魔法瓶
26	象印 エアポット ロマンSNK-1900	1975(昭和50)年頃	当館蔵	象印
27	象印 エアポット ローゼットSA-2500	1974(昭和49)年	当館蔵	象印
28	ポット(VOGUE 花と女性)	1979(昭和54)年	当館蔵	
29	アイスパール 憩 KJF4.4L すみれ	1968(昭和43)年	当館蔵	タイガー
30	電子ジャー	1971(昭和46)年	当館蔵	タイガー
31	電子ジャー「花雲」	1970(昭和45)年	当館蔵	象印



No.	資料または作品名	時代	所蔵者	備考
32	魔法瓶		藤枝市郷土博物館・文学館蔵	
33	象印 保温水筒		藤枝市郷土博物館・文学館蔵	象印
34	花柄ワンピース 青	1970年代～	個人蔵	
35	花柄ワンピース 黄	1970年代～	個人蔵	
36	花柄ワンピース 黒	1970年代～	個人蔵	
第2章 昭和のロングセラー商品・今も美味しく斬新なデザイン ロングライフデザインとロングセラー商品				
【文具】				
37	ユニ	1958(昭和33)年	当館蔵	三菱鉛筆
38	ぺんてるクレヨン	1955(昭和30)年	当館蔵	ぺんてる
39	ぺんてるサインペン	1963(昭和38)年	当館蔵	ぺんてる
40	Bicボールペン	1961(昭和36)年	当館蔵	Bic
41	ラッシュオンペン	1964(昭和39)年	当館蔵	寺西化学工業
42	消しゴム MONO	1969(昭和44)年	当館蔵	トンボ
43	消しゴム Radar	1968(昭和43)年	当館蔵	シード
44	図案スケッチブック	1958(昭和33)年	当館蔵	マルマン
【ふりかけ・お吸い物】				
45	のりたまご	1959(昭和34)年	当館蔵	ニチフリ
46	のりたま	1960(昭和35)年	当館蔵	丸美屋食品工業
47	錦松梅	1932(昭和7)年	個人蔵	錦松梅
48	お茶漬け海苔	1952(昭和27)年	当館蔵	永谷園
49	松茸の味・お吸いもの	1964(昭和39)年	当館蔵	永谷園
【斬新な容器・デザイン】				
50	ヤクルト	1968(昭和43)年	個人蔵	ヤクルト
51	キッコーマンしょうゆ卓上びん	1961(昭和36)年	当館蔵	キッコーマン
52	ワンカップ大関	1964(昭和39)年	当館蔵	大関
53	タカラcanチューハイ	1984(昭和59)年	当館蔵	宝酒造
54	かつばえびせん	1964(昭和39)年	当館蔵	カルビー
55	亀田の柿の種	1966(昭和41)年	当館蔵	亀田製菓
56	元祖柿の種	1924(大正13)年	当館蔵	浪花屋製菓
57	ガーナチョコレート	1964(昭和39)年	当館蔵	ロッテ
58	マーブルチョコレート	1961(昭和36)年	当館蔵	明治
59	アポロチョコレート	1969(昭和44)年	当館蔵	明治
60	森永ミルクキャラメル	1914(大正3)年	当館蔵	森永製菓
61	Hi-SOFTキャラメル	1969(昭和44)年	当館蔵	森永製菓
62	CHELSEA(チェルシー)	1971(昭和46)年	当館蔵	明治
63	クールミントガム	1960(昭和35)年	当館蔵	ロッテ
64	グリーンガム	1957(昭和32)年	当館蔵	ロッテ
65	アーモンドチョコレート	1962(昭和37)年	当館蔵	明治
【カレールウの誕生】				
66	赤缶カレー粉	1950(昭和25)年	当館蔵	エスピー食品
67	ハウス印度カレー 広告	1960(昭和35)年	個人蔵	ハウス食品
68	ハウス印度カレー プリキ缶	1960(昭和35)年	個人蔵	ハウス食品
69	ワンタッチカレー	1961(昭和36)年	当館蔵	江崎グリコ
70	オリエンタルマースカレー	1962(昭和37)年	当館蔵	オリエンタル



No.	資料または作品名	時代	所蔵者	備考
【インスタント食品】				
71	ボンカレー	1968(昭和43)年	当館蔵	大塚食品
72	掛川カレー		当館蔵	山英
73	カップヌードル	1971(昭和46)年	当館蔵	日清食品
74	チキンラーメン(インスタントラーメン)	1958(昭和33)年	当館蔵	日清食品

第2展示室

第3章 変わる道具と暮らし				
3-1 ごはんを炊く				
便利で美味しい電気炊飯器 炊飯だけから保温も				
75	羽釜		焼津市歴史民俗資料館蔵	
76	自動式電気釜	1955(昭和30)年	藤枝市郷土博物館・文学館蔵	東芝
77	自動電気釜 R.D-610		掛川市蔵	日立
78	ガス自動炊飯器		焼津市歴史民俗資料館蔵	パロマ
79	圧力式電気炊飯器 SR-200T	1968(昭和43)年	掛川市蔵	ナショナル
80	電気自動炊飯器		焼津市歴史民俗資料館蔵	
81	飯櫃		焼津市歴史民俗資料館蔵	
82	飯櫃入れ		藤枝市郷土博物館・文学館蔵	
83	ステンレスジャー	1964(昭和39)年頃	当館蔵	タイガー
84	電子ジャー	1971(昭和46)年	当館蔵	タイガー
3-2 道具とくらしの移り変わり				
85	たらい・洗濯板		藤枝市郷土博物館・文学館蔵	
86	手回し式洗濯機		焼津市歴史民俗資料館蔵	
87	ローラー付電気洗濯機		焼津市歴史民俗資料館蔵	
88	電子レンジ		焼津市歴史民俗資料館蔵	
89	電気ポット		焼津市歴史民俗資料館蔵	
90	東芝製 トースター		焼津市歴史民俗資料館蔵	
91	ナショナルポップアップ式トースター		藤枝市郷土博物館・文学館蔵	
92	魚焼きグリル		焼津市歴史民俗資料館蔵	
93	電気コンロ		藤枝市郷土博物館・文学館蔵	
94	真空管ラジオ		焼津市歴史民俗資料館蔵	
95	テープレコーダー オールトランジスタ RQ-500		掛川市蔵	
96	テープレコーダー オールトランジスタ RQ-115		掛川市蔵	
97	ナショナル カセットテープレコーダー		藤枝市郷土博物館・文学館蔵	
98	ビクターテープレコーダー TR-651型		掛川市蔵	
99	家庭用8ミリフィルムカメラ		焼津市歴史民俗資料館蔵	
100	ニッパー犬灰皿		掛川市蔵	
101	ソニーほうや		掛川市蔵	
102	ソニーほうや湯のみ		個人蔵	
103	ソニー ウォークマン	1979(昭和54)年	藤枝市郷土博物館	
104	ソニー ウォークマン		焼津市歴史民俗資料館	
105	マイクロカセットレコーダー	1982(昭和57)年	個人蔵	アイワ
106	小町アイロン 炭火アイロン		藤枝市郷土博物館・文学館	
107	炭火アイロン		焼津市歴史民俗資料館	
108	日立電気アイロン		焼津市歴史民俗資料館	



109	火のし		焼津市歴史民俗資料館	
110	こて		掛川市蔵	
111	タキドライアイロン		掛川市蔵	
112	ナショナルアイロン		掛川市蔵	
113	日立カラーテレビ CN-87C	1967(昭和42)年	清水邸蔵	
114	日立製作所 14形テレビ受信機FY-940JPG	1961(昭和36)年	掛川市蔵	
115	ナショナルテレビ TF-92Ya	1967(昭和42)年	掛川市蔵	
116	ナショナルカラーテレビ TH13-R33	1976(昭和51)年	掛川市蔵	
117	ナショナル ホットカーラー		藤枝市郷土博物館・文学館蔵	
118	パーマこて		藤枝市郷土博物館・文学館蔵	
119	ナショナル HAIR DRYER WINDY DS		藤枝市郷土博物館・文学館蔵	
120	黒電話		焼津市歴史民俗資料館蔵	
121	卓上電話機①		焼津市歴史民俗資料館蔵	
122	卓上電話機②		焼津市歴史民俗資料館蔵	
123	卓上電話機③		焼津市歴史民俗資料館蔵	
3-3 夏のくらし 冬のくらし				
124	日立卓上扇風機		藤枝市郷土博物館・文学館蔵	
125	東芝卓上扇風機		個人蔵	
129	蚊遣り豚(かやりぶた)		掛川市蔵	
127	三菱製電気あんか		藤枝市郷土博物館・文学館蔵	
128	豆炭あんか		藤枝市郷土博物館・文学館蔵	
129	豆炭あんか		焼津市歴史民俗資料館蔵	
130	湯たんぽ		掛川市蔵	
3-4 男の子の遊び				
131	おもちゃ(ロボット・サンシャイン60)		焼津市歴史民俗資料館蔵	
132	おもちゃ(ウルトラマン・ウルトラマンセブン)		焼津市歴史民俗資料館蔵	
133	おもちゃ(車 2台)		焼津市歴史民俗資料館蔵	
134	おもちゃ(ピストル)		焼津市歴史民俗資料館蔵	
135	おもちゃの映写機		焼津市歴史民俗資料館蔵	
136	めんこ一式		焼津市歴史民俗資料館蔵	
3-5 女の子の遊び				
137	ルネドール		個人蔵	
138	リカちゃん人形		個人蔵	
139	黒猫(ぬいぐるみ)		個人蔵	
140	バッキンガムの近衛兵さん		個人蔵	
第4章 かわるまちの様子				
新幹線				
141	写真 3点		個人蔵	
142	『第2版 東海道新幹線列車ダイヤ』		個人蔵	
143	新幹線開業20周年 車内掲示用パネル		個人蔵	
144	『写真とイラストで見る新幹線 -その20年の歴史-』		個人蔵	
145	新幹線運転手用懐中時計		個人蔵	
146	鉄道100年記念メダル		個人蔵	
147	開業5周年記念メダル		個人蔵	
148	新幹線開業記念メダル		個人蔵	
149	『新幹線支社運転取扱基準附指導事項集』		個人蔵	



150	『列車運転時刻表』		個人蔵	
151	『電車運転士行路表』		個人蔵	
152	『東京運転所基準規定集』		個人蔵	
153	さよなら0系(写真)		個人蔵	
154	制服と制帽		個人蔵	
長岡宏作品				
155	現在・過去・未来	1977(昭和52)年	当館蔵	
156	現在・過去・未来(1)	1977(昭和52)年	当館蔵	
157	三井ビル	1975(昭和50)年	当館蔵	

(2) 会期中の普及啓発活動

①チラシ〔左/表面、右/裏面〕(A 4/8,000 枚)

ポスター (B 2/150 枚)



②ワークシート (A 4二つ折り/1,000 枚)



③取材

静岡新聞、NHK 静岡放送、静岡朝日テレビ、テレビ静岡
SBS ラジオ「クローズアップマイタウン」(2/23)
お出かけ情報掲載 読賣新聞、朝日新聞

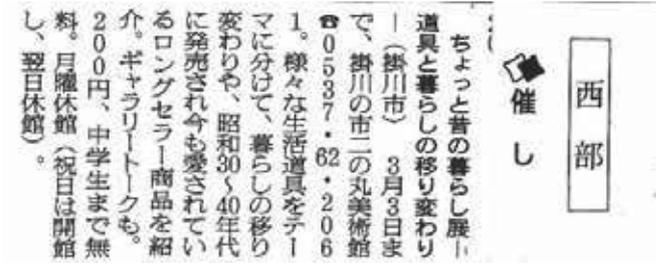


静岡新聞 1月29日(月)

「ちょっと昔の暮らし展～道具と暮らしの移り変わり～」27日～3月3日、掛川市掛川・市二の丸美術館。昭和30～40年代に発売された電化製品やロングセラー商品を展示。道具の変化とデザインの変遷、パッケージデザインの魅力などを紹介する。ギャラリートーク(31日、



読賣新聞 1月29日(月)



朝日新聞 2月3日 (土)

(3) 記録写真

外観 懸垂幕



エントランス後援表示



第1展示室



駄菓子屋さん (グッズ売場)



ギャラリートーク



ロビーレクチャー





②-6 令和5年度 掛川市二の丸美術館展覧会
日本の伝統色とKOGEIと

1 概要

- (1) 会 期 令和6年3月9（土）～3月31日（日）[開館日数20日間]
※令和6年度またぎ 会期は5月6日（月・祝）まで
- (2) 会 場 掛川市二の丸美術館（第1展示室・第2展示室）
- (3) 入館料 高校生以上 200円、中学生以下 無料
- (4) 入館状況

入館者数	1日平均	内訳		目標数	達成率
		有料	無料		
1,260人	63人	515人	745人	1,255人	100.4%

2 経緯

二の丸美術館の基軸ともなる工芸品「木下コレクション」。平成10年の開館時より年数回展覧会を開催している。毎回テーマを変えて時代や属種ごと全コレクションの中から選定し展示している。

3 目的

日本の伝統工芸品の素晴らしさや職人技を現代に伝えるとともに、これらの作品を後世に継承してゆくことを目的としている。さらに二の丸美術館の存在を広く知っていただき再来館を期待する。

4 体制

- (1) 主催 公益財団法人掛川市文化財団（掛川市二の丸美術館）/ 掛川市
- (2) 後援 掛川市教育委員会 / 静岡新聞社・静岡放送 / 中日新聞東海本社

5 参考 添付データ

- (1) 展示作品

第1展示室

蒔絵作品・煙草入れ・犬張子・茶入れ・浮世絵版画等 約50点

第2展示室

陣羽織・火事羽織等歴史資料・金工作品・中国陶磁器・煙草入れ・印籠・浮世版画等約150点

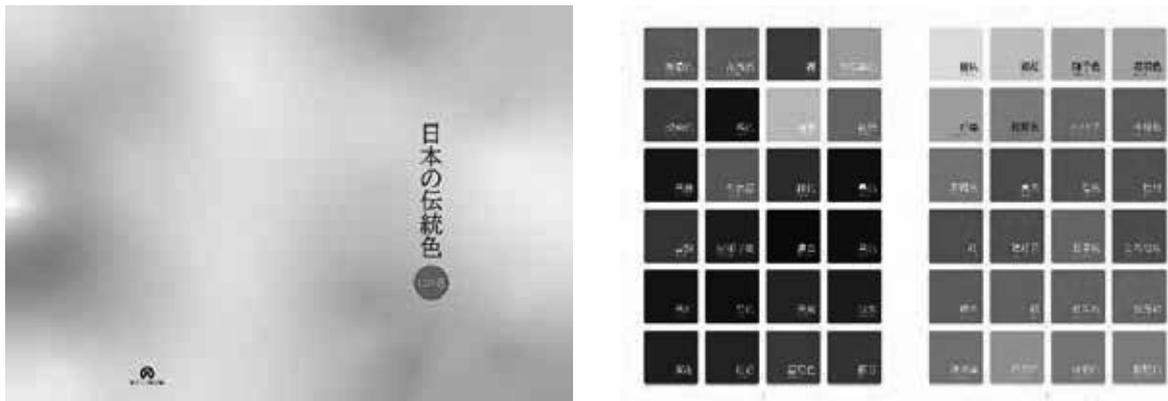


(2) 会期中の普及啓発活動

①チラシ [左/表面、右/裏面] (A 4/6,000 枚)



②販売用パンフレット「日本の伝統色 120 選」全 4 ページ



(3) 記録写真

外観 懸垂幕



エントランス後援表示



第1展示室
廊下壁面





第1展示室
ガラスケース内



第1展示室
平ケース内



第1展示室 壁面



第2展示室
ガラスケース内



第2展示室 全体



第2展示室
ガラスケース内





令和5年度 掛川市二の丸美術館・ステンドグラス美術館 講座等事業（教育普及活動）

③-1 掛川市民芸術祭連携事業 スケッチ画公募・作品展

1 概要

美術館教育普及活動の一環として、「みんなの顔、二の丸美術館、掛川城、動物・花、好きな風景」を主題にスケッチ画を募集、展示。出品作品は審査を行い、小学生、中学生、一般の部で優秀賞、奨励賞、計25点を選出し、会期中にロビーで表彰式を行った。

(1) 公募期間 8月1日(火)～9月30日(土)

(2) 応募点数 401点〔小学生268点/中学生103点/一般30点〕

※ 前年度288点(対比139%)

(3) 作品審査

■ 一次審査 10月13日(金) 13:30～15:30

審査員 山城 道也 氏(二紀会準会員)

■ 二次審査 11月16日(木) 14:00～15:00

審査員

山本和子 氏(掛川おかみさん会会長)

青野 馨 氏(掛川市二の丸美術館・掛川市ステンドグラス美術館ミュージアムサポーター代表)

小関昌典 氏(掛川市教育員会学校教育課課長)

山田京子 氏(掛川市文化・スポーツ振興課課長)

日比野秀男 (掛川市二の丸美術館・掛川市ステンドグラス美術館館長)

(4) 受賞者 25人(優秀賞9人、奨励賞16人)

■ 小学生の部 17人(優秀賞6人、奨励賞11人)

賞	学校名	学年	氏名	タイトル
優秀賞	掛川市立曾我小学校	1年生	道野 慧	わらっているいもうと
	掛川市立横須賀小学校	2年生	小林 海到	かっこいいライオン
	掛川市立横須賀小学校	2年生	篠 遥真	かっこいいワガタ
	掛川市立第一小学校	5年生	相馬 葉那	庭でおひるね
	掛川市立第二小学校	5年生	本井 夕夏	ゆりの花
	掛川市立上内田小学校	6年生	渥美 文葉	うちのねこ
奨励賞	掛川市立曾我小学校	2年生	齋藤 あやめ	わたしのトマト
	掛川市立横須賀小学校	2年生	杉山 己織	いろんな色のくじやく
	掛川市立横須賀小学校	2年生	横山 菜渚	おしゃれなとり
	浜松市立泉小学校	3年生	井伊 煌叶	しあわせそうなじいじ
	掛川市立西郷小学校	3年生	尾崎 くるみ	二頭のキリン
	掛川市立横須賀小学校	3年生	芝田 伊織	空までのびたきれいなお花
	掛川市立上内田小学校	4年生	角皆 満笑	わたしの笑顔
	掛川市立横須賀小学校	4年生	永田 隼理	掛川城
	掛川市立第一小学校	4年生	松下 愛菜	わたしの好きなステンドグラス美術館
	掛川市立第一小学校	6年生	大石 歩実	やすらぎ
	掛川市立倉真小学校	6年生	増田 蒼祈	眠猫(ねむねこ)



■中学生の部 6人（優秀賞 2人、奨励賞 4人）

賞	学校名	学年	氏名	タイトル
優秀賞	掛川市立西中学校	2年生	石山 瑞葵	同級生
	掛川市立西中学校	3年生	出羽 卯生子	ジョロウグモ
奨励賞	掛川市立西中学校	1年生	鶴林 千優	桔梗
	掛川市立大須賀中学校	2年生	立石 創士	大須賀の海
	掛川市立東中学校	2年生	町田 翠	猫大好き
	掛川市立大須賀中学校	3年生	田島 夢娃	掛川城

■一般の部 2人（優秀賞 1人、奨励賞 1人）

賞	氏名	タイトル
優秀賞	浦木 裕之	初夏の掛川城
奨励賞	河原崎 静子	紙芝居が来た坂道

(5) 作品展示

期 間 1月27日（土）～3月3日（日）

会 場 二の丸美術館ロビー

(6) 表彰式

日 時 1月28日（日）

① 10：30 小学生の部 14人

② 14：00 中学生・一般の部 7人

会 場 二の丸美術館ロビー

2 経緯

平成22年に美術館教育活動の一環として始まった本事業は、設定したテーマを題材に描いたスケッチ画を募集し、応募者全員の作品を館内ロビーで展示している。優秀作品を表彰することで創作意欲の高まりと、展示を通じて地域に密着した親しみやすい展覧会として多くの方に美術館に足を運んでいただくことを目的とし開催している。

3 目的

- (1) 絵画の初歩であるスケッチ画を募集し、市民に創作活動への参加を促す。
- (2) 応募いただいた作品を展示することで、出品者や家族等が美術館と繋がりをもち身近に感じてもらおう。

4 体制

- (1) 主催 公益財団法人掛川市文化財団（掛川市二の丸美術館） / 掛川市



5 参考 添付データ

(1) 販促物

- ① チラシ (A4/3,000枚) ② 表彰式 次第 表 / 裏



(2) 記録写真

展示風景 1



展示風景 入選作品



小学生の部 優秀作品



展示風景 2



表彰式 小学生の部



表彰式 中学生の部





③-2 文化庁伝統文化親子教室

1 概要

重要無形文化財保持者（人間国宝）やその専門技術者をむかえて、日本に古来より伝わる伝統工芸技法を現代の子供たちに伝承する体験型講座。この企画は文化庁の助成を受け2016年より毎年実施しているもので、今回はその8年目にあたる。講師をむかえて実技的な講習を受ける体験教室と、その事前解説講座とを組み合わせ、年2回開催している。

◆ 鑄金講座

- ①事前学習 鑄金（金工）に関するお話を実際の作品とともに解説

日 時 9月30日（土）14：00～15：00

解 説 当館学芸員

会 場 掛川市竹の丸ギャラリー

参加者 18人

- ②体験教室 講師の指導のもと、鑄金技法による錫の小物を制作

日 時 10月21日（土）13：30～16：00

講 師 大角幸枝氏（重要無形文化財保持者）・宮崎瑞土氏

会 場 掛川市生涯学習センター料理室

参加者 18人

◆ 陶芸講座

- ①事前学習 陶芸作品を主体とした二の丸美術館の作品を解説

日 時 12月10日（日）14：00～15：00

解 説 当館学芸員

会 場 掛川市竹の丸ギャラリー

参加者 12人

- ②体験教室 講師の指導のもと、カラーシートを使った小皿を制作

日 時 12月17日（日）13：30～16：00

講 師 望月 集氏・渡辺 国夫氏

会 場 大日本報徳社 仰徳記念館

参加者 12人

2 経緯

平成16年から今年8年目となる企画。文化庁の助成を受け、市内外の小学校を対象に事前学習と体験教室の2部構成で行っている。

3 目的

重要無形文化財保持者である先生方をお迎えし、事前学習および作品制作を通じて子どもたちの豊かな心や感性・創造性を育むとともに、伝統文化等への関心を高めることを目的とする。

4 体制

(1) 主催 公益財団法人掛川市文化財団 / 掛川市伝統工芸体験教室実行委員会

(2) 協力 公益財団法人日本工芸会 / 公益財団法人岡田茂吉美術文化財団（MOA美術館）



5 参考 添付データ

(1) 記録写真

① 鋳金講座



② 陶芸講座





③-3 ナイトミュージアム・イルミネーション

1 概要

ナイトミュージアムは、屋外から作品を投光し、昼間の自然光とは違う雰囲気 작품을鑑賞することで夜の美術館を楽しんでいただく。

イルミネーションは、屋外門柱や樹木にイルミネーションを設置し、冬の美術館を広く市民の皆様に鑑賞していただいた。

◆ナイトミュージアム

①あそべるミュージアム&掛川百鬼夜行 タイアアップ

日 時 令和5年10月29日(日) 17:00～21:00

会 場 ステンドグラス美術館

入館者 92人

②掛川ひかりのオブジェ展開会式 タイアアップ

日 時 令和5年12月2日(土) 17:00～21:00

会 場 ステンドグラス美術館

入館者 60人

③掛川城天守閣開門30周年記念イベント 御殿プロジェクションマッピング タイアアップ

日 時 令和6年3月30日(土) 17:00～20:00

会 場 ステンドグラス美術館

入館者 97人

◆イルミネーション

期 間 令和5年12月2日(土)～令和6年1月19日(金)

会 場 ステンドグラス美術館

2 経緯

普段とは違う作品の見せ方で、多くの市民に足を運んでいただく。また、地域のイベントと連携し地域の活性化に繋げていく。

3 目的

夜の幻想的な空間でステンドグラス作品を鑑賞し、豊かな心を育てていただくと共に、作品に対する関心を高めるきっかけにしよう。

4 体制

(1) 主催 公益財団法人掛川市文化財団(掛川市ステンドグラス美術館) / 掛川市



6 参考 添付データ

(1) 記録写真

10月29日 ナイトミュージアム



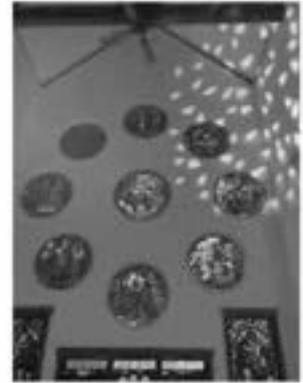
12月2日 ナイトミュージアム



12月2日 ナイトミュージアム



3月30日 ナイトミュージアム





③-4 ふらっと美術館プロジェクト（ワークショップ等ロビー活用）

1 概要

ふらっと美術館プロジェクト（ワークショップ等ロビー活用）として、「展覧会関連事業」、「集客事業」、「アーティスト・イン・レジデンス」、「交流出張展示」の4つの事業を実施し、幅広い年齢層の方々に二の丸美術館を知っていただくとともに、二の丸美術館の新たな利活用により、これまで数居の高いイメージであった美術館のイメージを一新し、市民が気軽に集える交流の場として賑わいを創出した。

- (1) 実施件数 7件
- (2) 参加人数 5,987人
- (3) 実績（内訳）

展覧会関連（3件）			
事業名	開催日	人数	事業内容
① 葉祥明展関連イベント			
サイン会	9/2（土）	90人	ワークシート3種類及び塗り絵4種類各500枚を作成し作品の理解を深める。葉祥明先生サイン会や葉祥明美術館長とのダブル館長対談を開催
W館長対談	9/18（月）	40人	
ぬり絵コーナー	7/22（土）～ 9/18（月）	2,000人	
② 根付師と巡る美術館と秋のお茶会	10/15（日）	15人	及川空観先生と大西弘祐先生による作品解説。
③ ロビーレクチャー 道具とデザイン	2/18（日）	20人	佐井国夫先生より企業デザインをテーマに「キッコーマン醤油」のボトルデザインを解説。
集客事業関連（2件）			
④ ミュージアムマーケット Vol.5	10/29（日）	1,800人	掛川百鬼夜行タイアップ
⑤ ミュージアムマーケット Vol.6	3/31（日）	1,500人	掛川城天守閣開門30周年記念タイアップ
アーティスト・イン・レジデンス（1件）			
⑥ 実りのわのワークショップ @二の丸美術館	11/5（土）	17人	講師・木下琢朗先生「かけがわ茶エンナーレ滞在制作芸術家」見つけた掛川の面白いもの、きれいなものを使ったWSシリーズ
交流出張展示関連（1件）			
⑦ 開館25周年記念 交流出張展	10/3（火）～ 11/19（日）	505人	開館25周年を記念し吉岡彌生記念館のご紹介や郷土の偉人吉岡彌生をパネルで紹介

2 経緯

令和5年度未来チャレンジ枠予算における職員提案により、掛川市二の丸美術館がより多くの方々に気軽にご利用いただき、新たな交流の場として活用できるよう「ふらっと美術館プロジェクト」を立ち上げ、令和5年8月、美術館ロビーの設備改修を行った。改修工事により、新たにワークショップやシアター機能、ステージ機能、動画配信などの機能が加わり、市民や団体等による活動や発表が行なえる環境が整備された。二の丸美術館の新たな利活用により、これまで数居の高いイメージであった美術館のロビーが誰もが気軽に立ち寄れる憩いの場所となった。本年度は、ワークショップ等ロビー活用で7本、コンサートで2本の事業を実施し、市民が気軽に参加でき



るワークショップ、文化振興の情報発信として交流出張展示、創作活動の発表の場としてアーティスト・イン・レジデンスを開催した。

3 目的

ふらっと美術館プロジェクトは、「美術館は敷居が高く入りづらい」というイメージを払拭し愛着をもってご利用いただけるような施設になることを目指し、美術館の敷居がフラット（平ら）で誰もがふらっと立ち寄れる場所になるためのプロジェクト。

美術館の改修工事により、これまでの美術館の機能に加え、市民活動の拠点としての機能が加わったことを受け、ロビーが市民の創作や発表の場として活用され、文化芸術活動の拠点として利活用していくことを目的としている。

4 体制

- (1) 主催 公益財団法人掛川市文化財団（掛川市二の丸美術館）／掛川市
- (2) 共催 実りのわのWS（かけがわ茶エンナーレ実行委員会アートプロジェクト）

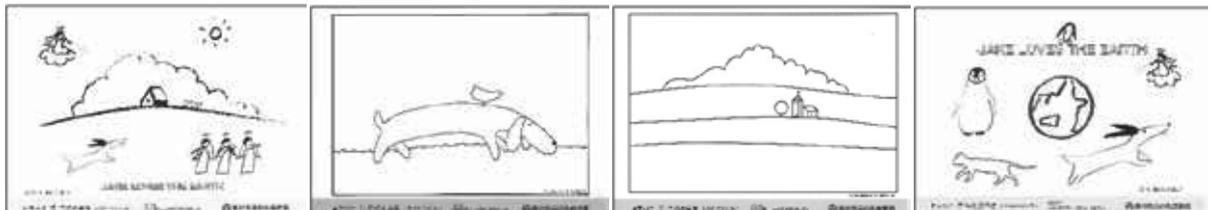
5 参考 添付データ

(1) 普及啓発活動

① 葉祥明展覧会 ワークシート（A4 3種類／各500枚）



② 葉祥明展覧会 ぬり絵（B5 4種類／各500枚）





(2) 記録写真

ぬり絵コーナー



葉祥明氏 サイン会



ギャラリートーク (市長あいさつ)



葉祥明館 W館長対談



吉岡彌生記念館交流展示



あそべるミュージアム



Youtubeライブ配信



実りのわのWS



根付師と巡る美術館



ロビーレクチャー (ちょっと昔の暮らし展)



ミュージアムマーケット





③-5 ふらっと美術館プロジェクト「ミュージアムコンサート」

1 概要

ふらっと美術館プロジェクト（ワークショップ等ロビー活用）として、「展覧会関連事業」、「集客事業」、「アーティスト・イン・レジデンス」、「交流出張展示」の4つの事業を実施し、幅広い年齢層の方々に二の丸美術館を知っていただくとともに、二の丸美術館の新たな利活用により、これまで敷居の高いイメージであった美術館のイメージを一新し、市民が気軽に集える交流の場として賑わいを創出した。

- (1) 実施件数 2件
- (2) 参加人数 164人
- (3) 実績（内訳）

ミュージアムコンサート(2件)			
事業名	開催日	事業内容	参加者
オープニングナイト	8/19(土)	ロビーお披露目コンサート 出演者:袴田麻純(ピアノ) 赤堀愁(落語)	40人
ミュージアムコンサート	3/16(土)	ピアノコンサート 出演者:佐藤元洋(ピアノ)	124人

2 経緯

令和5年度未来チャレンジ枠予算における職員提案により、掛川市二の丸美術館をより多くの方々に気軽にご利用いただき、新たな交流の場として活用できるよう「ふらっと美術館プロジェクト」を立ち上げ、令和5年8月、美術館ロビーの設備改修を行った。改修工事により、新たにワークショップやシアター機能、ステージ機能、動画配信などの機能が加わり、市民や団体等による活動や発表が行なえる環境が整備された。二の丸美術館の新たな利活用により、これまで敷居の高いイメージであった美術館のロビーが誰もが気軽に立ち寄れる憩いの場所となった。

本年度は、市民が気軽に参加出来るミュージアムコンサートを開催した。

3 目的

ふらっと美術館プロジェクトは、「美術館は敷居が高く入りづらい」というイメージを払拭し愛着をもってご利用いただけるような施設になることを目指し、美術館の敷居がフラット（平ら）で誰もがふらっと立ち寄れる場所になるためのプロジェクト。

美術館の改修工事により、これまでの美術館の機能に加え、ロビーを市民の創作や発表の場、文化芸術活動の拠点として利活用していくことを目的としている。

4 体制

- (1) 主催 公益財団法人掛川市文化財団（掛川市二の丸美術館） / 掛川市
- (2) 後援 掛川市教育委員会



5 参考 添付データ

(1) 普及啓発活動等

8/19 (土) オープニングナイト

チラシ



プログラム



3/16 (土) ミュージアムコンサート

チラシ



プログラム





(2) 取材

8月21日(月) 静岡新聞

8月23日(金) 中日新聞



(3) 記録写真

8/19(土) オープニングナイト

開会式

第1部 落語

第2部 コンサート



3/16(土) ミュージアムコンサート





③-6 ステンドグラス美術館開館8周年記念 無料開放日

1 概要

平成27年にステンドグラス美術館をオープンし、翌年の1周年目から継続されている事業。本年6月6日でステンドグラス美術館が開館8周年を迎えた記念として二の丸美術館とステンドグラス美術館の入館料を1日無料とする。

来場者アンケート実施し、回答いただいたお客様には絵はがきをプレゼントする。

(1) 日 時 令和5年6月6日(火) 9:00～17:00

※最終入館は16:30

(2) 会 場 掛川市二の丸美術館・掛川市ステンドグラス美術館

(3) 入館料 無料

(4) 入館状況

二の丸美術館	349人
ステンドグラス美術館	410人
計	759人

2 経緯

日ごろのご愛顧に感謝し、ステンドグラス美術館の開館記念日(6月6日)に二の丸美術館、ステンドグラス美術館の両美術館を入館無料の開放日としている。

3 目的

多くの来場者が芸術に触れ、貴重な美術品を掛川で鑑賞できる素晴らしさを伝える。

また、作品を鑑賞することでアートに対する関心を高めるきっかけにしようとともに、豊かなこころを育んでいただく。

4 体制

(1) 主 催 公益財団法人 掛川市文化財団/掛川市

5 参考 添付データ

普及啓発活動(館内掲示)





③-7 美術館ライトアップ

ステンドグラス美術館を夜間ライトアップすることで、多くのお客様の目に触れ、19世紀の貴重な作品が掛川のまちで鑑賞できる素晴らしさを伝える。

(期間) 通年



③-8 ミニコンサート

ステンドグラス美術館内で、地域の演奏家によるミニコンサートを開催する。お客様には、多彩な楽器による演奏とステンドグラスの双方を堪能していただくとともに、演奏者への発表の場を提供する。

6月10日(土)「月見の里ゴスペルクワイア(声楽)」(45名)

11月25日(土)「ブリリアントスターズ(声楽)」(45名)

12月10日(日)「山本夏子(声楽)・藤田麻貴子(ピアノ)」(45名)

③-9 企画展ギャラリートーク

当館館長および学芸員による作品解説をおこない、作品に関する理解を深めるとともに魅力を伝える。





③- 10 作品解説サポーター研修

ステンドグラス作品についての深い知識を得るため、美術館サポーター同士の交流を図り、独自の研究発表の場を提供した。

4月26日（水）ミュージアムサポーター 解説グループ総会

5月24日（水）ミュージアムサポーター 解説グループ勉強会



③- 11 ミュージアムマーケット (Vol.4～Vol.6)

美術館への来館機会を提供するため、空きスペースを有効に活用し、出店者の協力のもとクラフトや地場産品等を販売する。

6月10日（土）ミュージアムマーケット Vol. 4 (1,000人)

10月29日（日）ミュージアムマーケット Vol. 5 (1,800名)

12月31日（日）ミュージアムマーケット Vol. 6 (1,500名)



③- 12 かけがわ茶エンナーレ アートプロジェクト

11月5日（土）アートインレジデント「実りのわのワークショップ」(17人)

12月20日（水）原泉アートデイズ (35人)





③-13 あそべるミュージアム

二の丸美術館を「あそべるミュージアム」とし、親子向けに開放する。ロビーではワークショップや託児コーナーを設け、気軽に入館できる美術館とし、報徳社においては、かけがわアーツを活用し、登録アーティストによるコンサートやマルシェを開催する。周辺施設との連携により、親子連れで楽しめる企画を開催する。

10月29日（日）あそべるミュージアム（209名）





④ ステンドグラス美術館 体験講座

1 概要

2015年のステンドグラス美術館開館時より基本構想の一つであったステンドグラス体験講座は、ステンドグラス技法の基礎である古典技法（グリザイユによる絵付けから焼成・組立の工程）を簡略化して体験できる講座である。小学生は基本絵付けのみを体験するものとしている。

(1) 開催日

①夏休み体験講座 令和5年8月1日（火）～8月4日（金）

②春休み体験講座 令和6年3月22日（金）～3月25日（月）

(2) 会場 掛川市竹の丸ギャラリー

(3) 講師 志田 政人氏（掛川市ステンドグラス美術館顧問）
草間 幸子氏（掛川市ステンドグラス美術館副顧問）
布施 英憲氏（助手）

(4) 参加状況

講座	参加者	定員	達成率
夏休み	100人	96人	104.2%
春休み	88人	96人	91.7%
計	188人	192人	97.9%

2 経緯

本来触れる機会の少ないステンドグラスに接し体験してもらうことで、本物のガラスの美しさや制作することの楽しさを体感できる講座である。フランス製アンティークガラスや顔料などすべて本格的な材料を用いている。

3 目的

古典技法によるステンドグラス制作をより多くの方に体験していただき、ステンドグラスの長い歴史とともに自身の作品を作ることの喜びや意義を感じていただくことを目的としている。体験の機会を提供することで、子供たちがステンドグラスに興味を持ち美術館に再度来館してもらう。

この体験講座は、当館ならではの特別講座である。寄贈者である鈴木政昭氏のご意向もあり、未来を担う子供たちに本物のステンドグラスを体験してもらうことを目的として毎年開催している。

4 体制

(1) 主催 公益財団法人掛川市文化財団（掛川市ステンドグラス美術館）／掛川市



5 参考 添付データ

(1) 募集チラシA4 (各7,000枚)

①夏休み講座チラシ



②春休み講座チラシ



(2) 記録写真

スタンドグラス美術館内で解説を聞く



ガラスを選ぶ

講師から描き方の指導を受ける



下絵を考える



ガラスを選ぶ



下絵を考える



ステンドグラス美術館内展示（夏休み講座）



完成作品の一部紹介





⑤ 調 査 研 究

1 館蔵資料保存・整理の状況

(1) 資料の収集

令和5年度末までに収集した資料は、3,657点にのぼる。

二の丸美術館では、美術資料とともに歴史資料の収集も行っており、所蔵資料の範囲は多岐にわたる。資料の一層の充実をめざして、今後とも継続・計画的な資料収集を行う。

(2) 資料の範囲・方針

収集に当たっての基本的方針は次のとおりである。

- 掛川市出身作家および掛川市ゆかりの作品
- たばこ及びたばこ道具、細密工芸品に関する資料、作品
- 掛川城・高天神城・横須賀城に関する資料
- 掛川宿、日坂宿に関する資料
- その他

資料の収集方法は、寄贈の受け入れ、購入、寄託の受け入れなどである。

(3) 資料の管理

展示や研究などの美術館活動の基本となる資料は、市民の財産として永く後世に伝えなければならないが、一方では常に活用できるような状態にしておくことも必要である。

(4) 資料の保存

年間を通じて温湿度を一定に保った収蔵庫を2ヶ所設置し、一方では絵画を、もう一方では工芸品を収納し、それぞれの材質に適した空調を行っている。

光や温湿度の変化に注意を要する資料は、収蔵庫から出す期間をできるだけ短くし、外部環境からの影響をできるだけ小さくするようにしている。また、害虫やカビの発生を防止するため、毎年収蔵庫の燻蒸を行っている。

(5) 資料の修復

収蔵資料で汚損や劣化が激しいものは、専門家による修復を行っている。

(6) 資料の分布

収蔵品の中核となる木下コレクションは、総数2,300点余りと膨大な量で、内容もたばこ道具、刀装具、櫛、筭、印籠など多岐にわたり、現在も整理を行っている。

コレクションのうち、約800点がたばこ入れであるが、たばこ入れは染色・漆芸・金工・皮革など様々な技法を用いているので新たな分類方法が必要となった。そのため独自の分類方法を試みている。



2 資料貸出・利用

No.	資料名	点数	用途	利用期間	利用者	展覧会名等
1	煙草道具、櫛簀、浮世絵等	140	貸出	7/16～9/18	小山市立車屋美術館(栃木県)	「細密工芸の華」展出品 (7/22～9/24)
2	遠江国掛川城御天守台 石垣芝土手崩所絵図	1	貸出	11/7～11/16	掛川市立 大東図書館	デジタル化のための作品撮影
	遠江国掛川城地震之節 損所之覚図	1				
3	たばこ盆、きせる、簀、鐺 等	101	貸出	11/24～12/27	掛川市 吉岡彌生記念館	「開館25周年記念 交流出張展」出品 (11/24～12/27)
4	針箱、鏡台、提げ小箱	4	貸出	12/8～R.6 12/12	掛川市 吉岡彌生記念館	「働く女性-吉岡彌生が描いた未来-」 展出品 (12/19～R.6 12/8)

3 資料修復

No	資料名 / 作者	点数	制作年	形態、材質等	修復内容
1	《ばら》鈴木信太郎	1	1989	油彩・キャンバス	額クリーニング、黄袋・保管箱制作
2	木版画/牧野宗則	36		木版画	作品額装

4 印刷物作成状況

名 称	規 格	数 量
男も女も装身具Ⅱ	チラシA 4	8,000 枚
花と鳥・美の競演 -細密工芸・日本画・日本洋画-	ポスターB 2	200 枚
	チラシA 4	800 枚
	講演会チラシA 4	500 枚
	クイズA 4 (二つ折り)	700 枚
葉祥明原画展 -しあわせの小径-	ポスターB 2	200 枚
	チラシA 4	8,000 枚
	対談チラシA 4	300 枚
	ワークシートA 4 (3種類)	各 500 枚
京都清宗根付館コレクション -手のひらのマイクロコスモス 根付に遊ぶ-	ポスターB 2	200 枚
	チラシA 4	8,000 枚
	三つ折りリーフレット	1,000 枚
ちょっと昔の暮らし展 -道具と暮らしの移り変わり-	ポスターB 2	150 枚
	チラシA 4	8,000 枚
	ワークシートA 4 (三つ折り)	1,000 枚
日本の伝統色と KOGEI と	ポスターB 2	150 枚
	チラシA 4	8,000 枚
	パンフレット (全4ページ /200円)	500 枚
年間スケジュール	A 4 (三つ折り)	7,000 枚



⑥ 管 理 運 営

1 入館者数統計

(1) 年度別入館者数

①二の丸美術館

年度	開館 日数	有料入館者数											無料入館者数		計	1日 平均	
		美術館のみ		美術館・ 掛川城セット			美術館・ スタンドセット		美術館・ 掛川城・ スタンドセット		周遊券		大人	小人			
		大人	小人	大人	小人	団体	大人	団体	大人	団体	大人	団体					
H10	276	8,039	480	26,820	2,194	—	—	—	—	—	—	—	—	12,978	2,319	52,830	191
11	270	6,752	281	24,342	1,612	—	—	—	—	—	—	—	—	2,887	1,052	36,926	137
12	273	6,473	159	22,125	1,500	—	—	—	—	—	—	—	—	3,467	1,451	35,175	129
13	275	5,110	98	22,395	1,483	—	—	—	—	—	—	—	—	2,994	1,302	33,382	121
14	277	5,266	107	19,846	1,477	—	—	—	—	—	—	—	—	7,103	1,456	35,255	127
15	273	4,553	110	21,520	1,405	—	—	—	—	—	—	—	—	5,953	1,512	35,053	128
16	268	3,967	462	20,926	1,684	—	—	—	—	—	—	—	—	9,496	2,921	39,456	147
17	280	4,611	79	35,706	1,553	—	—	—	—	—	—	—	—	17,888	4,237	64,074	229
18	304	5,864	145	81,054	2,739	—	—	—	—	—	—	—	—	19,092	3,762	112,656	371
19	270	3,428	101	20,368	1,208	—	—	—	—	—	—	—	—	13,502	3,093	41,700	154
20	269	5,798	104	23,275	1,572	—	—	—	—	—	—	—	—	5,140	1,181	37,070	138
21	267	4,597	107	20,743	1,176	—	—	—	—	—	—	—	—	5,437	1,332	33,392	125
22	268	3,105	82	17,596	617	—	—	—	—	—	—	—	—	5,294	2,313	29,007	108
23	268	2,703	82	19,084	1,526	—	—	—	—	—	—	—	—	4,163	1,183	28,741	107
24	276	2,538	52	17,160	1,324	—	—	—	—	—	—	—	—	4,740	1,062	26,876	97
25	273	2,711	68	13,720	727	—	—	—	—	—	—	—	—	4,261	1,639	23,126	85
26	272	2,602	35	7,408	467	—	—	—	—	—	—	—	—	4,068	1,277	15,857	58
27	270	4,112	—	3,871	—	883	2,479	208	2,641	574	—	—	—	5,511	3,231	23,510	87
28	289	5,431	—	2,775	—	545	1,182	515	2,237	794	—	—	—	4,766	3,467	21,712	75
29	285	8,906	—	3,976	—	755	794	428	2,795	850	18	0	—	5,445	4,282	28,249	99
30	307	6,892	—	3,689	—	825	710	388	2,267	1,284	370	252	—	6,022	5,070	27,769	90
R1	283	6,063	—	2,292	—	509	570	254	1,950	708	550	170	—	6,495	4,361	23,922	85
2	256	7,891	—	394	—	172	335	142	432	177	72	31	—	4,271	2,501	16,418	64
3	302	6,040	—	470	—	55	443	70	641	114	101	20	—	4,632	2,718	15,304	51
4	302	9,964	—	—	—	—	1,702	85	—	—	—	—	—	14,651	3,699	30,101	100
5	237	10,589	—	—	—	—	706	416	—	—	—	—	—	3,093	2,713	17,517	74
累計	7,190	144,005	2,552	431,555	24,264	3,744	8,921	2,506	12,963	4,501	1,111	473	—	183,349	65,134	892,268	124



②ステンドグラス美術館

年度	開館日数	有料入館者数										無料入館者数		計	1日平均
		美術館のみ	美術館・掛川城セット		美術館・ステンドセット		美術館・掛川城・ステンドセット		周遊券		大人	小人			
		大人	大人	団体	大人	団体	大人	団体	大人	団体					
27	257	28,662	4,751	1,630	2,537	260	2,677	588	—	—	4,858	6,247	52,210	203	
28	323	15,809	3,498	1,280	1,187	520	2,216	766	—	—	3,121	5,419	33,816	105	
29	317	10,791	3,417	1,259	767	428	2,807	846	18	0	4,155	5,517	30,005	95	
30	359	10,306	3,355	1,134	700	392	2,280	1,288	370	252	2,393	4,917	27,387	76	
1	325	8,607	2,519	1,015	567	254	1,951	718	550	170	2,424	3,919	22,694	70	
2	285	8,008	459	206	322	142	434	179	72	31	972	2,681	13,506	47	
3	339	8,773	920	208	470	55	641	114	102	22	1,288	3,432	16,025	47	
4	338	13,783	—	—	1,631	156	—	—	—	—	2,023	4,203	21,796	64	
5	314	16,823	—	—	403	719	—	—	—	—	2,082	3,742	23,769	76	
累計	2,857	121,562	18,919	6,732	8,584	2,926	13,006	4,499	1,112	475	23,317	40,077	241,208	84	

(2) 令和5年度月別入館者数

①二の丸美術館

月	開館日数	有料入館者数				無料入館者数			合計	1日平均
		美術館のみ	美術館・ステンドセット		計	大人	小人	計		
			個人	団体						
4月	28	704	28	20	752	247	370	617	1,369	49
5月	23	1,030	81	31	1,142	235	267	502	1,644	71
6月	26	847	25	40	912	487	125	612	1,524	59
7月	16	820	33	55	908	190	138	328	1,236	77
8月	27	1,103	83	62	1,248	222	304	526	1,774	66
9月	22	1,252	104	57	1,413	349	380	729	2,142	97
10月	26	998	115	27	1,140	268	205	473	1,613	62
11月	17	874	76	19	969	147	121	268	1,237	73
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	4	231	15	2	248	66	82	148	396	99
2月	25	1,813	89	71	1,973	264	438	702	2,675	107
3月	23	917	57	32	1,006	618	283	901	1,907	83
合計	237	10,589	706	416	1,122	3,093	2,713	5,806	17,517	74

※11/20(月)～1/26(金)空調設備更新工事のため休館



②ステンドグラス美術館

月	開館日数	有料入館者数				無料入館者数			合計	1日平均
		美術館のみ	美術館・ステンドセット		計	大人	小人	計		
			個人	団体						
4月	28	1,221	20	28	1,269	92	439	531	1,800	37
5月	27	1,742	31	81	1,854	132	374	506	2,360	50
6月	26	1,009	40	25	1,074	482	169	651	1,725	66
7月	26	1,119	23	65	1,207	131	267	398	1,605	62
8月	27	1,960	61	84	2,105	180	525	705	2,810	104
9月	26	2,654	24	137	2,815	155	439	594	3,409	131
10月	26	1,229	24	118	1,371	189	268	457	1,828	70
11月	26	1,291	19	76	1,386	146	186	332	1,718	66
12月	24	881	0	0	881	119	255	374	1,255	52
1月	26	971	2	15	988	108	199	307	1,295	50
2月	25	1,235	74	86	1,395	135	197	332	1,727	69
3月	27	1,511	85	4	1,600	213	424	637	2,237	83
合計	314	16,823	403	719	17,945	2,082	3,742	5,824	23,769	76

(3) 二の丸美術館展覧会 会期別入館者数

項目		男も女も装身具Ⅱ	花と鳥 美の競演	葉祥明 原画展	京都清宗根付館 コレクション	ちよつと昔の暮らし展	収蔵品展	令和5年度計	
		江戸から明治・大正期の技とデザイン	細密工芸・日本画・日本洋画	しあわせの小径	一手のひらのミクロコスモス 根付に遊ぶ	スケッチ画公募 作品展	日本の伝統色と KOGEIと		
開催期間		4/1-5/14	5/20-7/9	7/22-9/18	9/24-11/19	1/27-3/3	3/9-3/31		
開催日数		41	44	51	49	32	20	237	
有料入館者	個人	美術館	387	735	1,711	974	1,666	238	5,711
		美割	296	89	224	508	452	193	1,762
		美術館・ステンド	134	117	290	245	219	43	1,048
		市町村組合	18	25	82	36	42	15	218
		小笠掛川勤労者組合	4	6	14	2	22	8	56
	個人計	839	972	2,321	1,765	2,401	497	8,795	
有料入館者	団体	美術館	87	270	96	44	134	6	637
		美術館・ステンド	0	32	35	3	4	0	74
		まる得パスポート	293	553	480	676	169	9	2,180
		掛川(しずおか)満喫パス	1	3	4	10	4	3	25
	団体合計	381	858	615	733	311	18	2,916	
	有料入館者合計	1,220	1,830	2,936	2,498	2,712	515	11,711	



無料入館者	一般無料入館者	122	328	—	—	—	452	902
	中学生以下	560	253	710	387	614	189	2,713
	減免(引率者等)	31	34	47	127	12	5	256
	減免(身障者)	227	176	337	202	301	81	1,324
	招待状	49	75	248	142	79	18	611
	無料入館者合計	989	856	1,342	858	1,006	745	5,806
入館者数合計		2,209	2,696	4,278	3,356	3,718	1,260	17,517
一日平均人数		53.9	61.3	83.9	68.5	116.2	63.0	176.9

(4) 令和5年度 掛川市ステンドグラス体験講座 (掛川市受託事業)

No.	講座名	会場	参加人数	内訳		実施日
				大人	小学生	
1	小学生講座 (夏休み)	竹の丸ギャラリー	100	0	100	8/1 (火) ~ 8/4 (金)
2	小学生講座 (春休み)	竹の丸ギャラリー	88	0	88	3/22 (金) ~ 3/25 (月)
計			188	0	188	

2 組織・決算

(1) 機 構 (令和6年3月31日現在)



(2) 美術館協議会委員 任期2年 (令和5年4月1日~令和7年3月31日)

氏 名	経歴・所属等
堀澤 光栄	前姫路市書写の里・美術工芸館館長
市川よしか	資生堂企業資料館
伊藤 充宏	(株) 静岡新聞社・静岡放送 (株) 浜松総局長
中田美智雄	掛川市文化協会会長
村松 裕幸	掛川市立中小学校長
石津たつ子	掛川の現代美術研究会役員
橋爪 純	画家
岡田 昇	大須賀郷土研究会 副会長



(3) 令和5年度決算

●市決算

歳入 (単位：千円)

区 分	金 額
美術館管理運営費雑入	350
計	350

歳出 (単位：千円)

区 分	金 額
美術館協議会委員報酬	21
美術館協議会運営費	11
美術館管理運営費	150,088
計	150,120

●二の丸美術館決算

収入 (単位：千円)

区 分	金 額
指定管理料	66,401
入館料	3,949
物販手数料	25
講座等収入	38
助成金	2,000
計	72,413

支出 (単位：千円)

区 分	金 額
人件費	33,743
管理費	19,239
事務費	8,754
講座等	344
展覧会	9,514
計	71,594

●ステンドグラス美術館決算

収入 (単位：千円)

区 分	金 額
指定管理料	21,105
入館料	7,069
物販手数料	19
計	28,193

支出 (単位：千円)

区 分	金 額
人件費	20,031
管理費	2,764
講座等	113
事務費	3,671
計	26,579



3 令和5年度 美術館協議会

【第1回】 台風接近に伴い書面決議

【議題】 令和4年度 美術館事業報告

①市民が美術館に親しむための取り組みについて

【第2回】 令和6年2月6日（火）14：00～15：00

掛川市中央図書館 会議室 A

出席者：16人（協議会委員6人、掛川市4人、寄贈者、財団5人）

【議題】

①特色ある美術館事業について

②かけがわ茶エンナーレ 2024 事業概要について

新たなる学校連携の試み

1 概要

現在、掛川市内には小学校 22 校、中学校 9 校、高等学校 4 校が所在している。児童・生徒数は、小学生 6,289 人、中学生 3,165 人、高校生 2,440 人である。掛川市は南北に長く、美術館から一番遠い学校は距離にして約 30km、車でも約 40 分かか一方、一番近い学校は美術館から 300 m の位置にある。こうした環境下において、市内全域の児童生徒が平等に美術館を利用できるよう方策を取るのには大きな課題がある。学校から美術館へのバスによる移動等配慮もなされてきてはいるが、美術館までの交通手段の問題が解決されるケースは限定的である。また、学校側においても過密な年間スケジュールの中、教育課程の範囲内で児童生徒が美術館を利用することには多くの壁がある。コロナ禍以降、校外行事を取り止めた学校もあり、同じ市内と言えども遠方の児童・生徒にとっては美術館という存在はますます遠いものになっているのが現況である。上記に述べた課題の解決の一助とするため、新たな学校連携の取り組みとして Zoom を用いたオンライン授業を計画し実施した。

実施学校別 日時・学年・科目・参加人数

学校名	実施日時	学年	科目	参加人数
掛川市立中小学校	2/14 (水) 13:15 ~ 14:00	3	社会	18 人
静岡県立横須賀高等学校 (美術選択者)	2/15 (木) 13:25 ~ 15:15	1	美術 I	14 人
	2/18 (月) 09:50 ~ 11:40			18 人
	2/19 (火) 10:50 ~ 12:40			19 人

(1) 授業内容と形態

令和 5 年度の展覧会「ちょっと昔の暮らし展－道具と暮らしの移り変わり－」を題材に授業を行った。この展覧会は元々、小学 3 年生の社会科の学習単元「かわる道具と暮らし」に対応したものであるとして計画された。展示の中でも特に①ポットの機能面の進化とデザインの変遷、②昭和 30～40 年代に発売され今なお愛されているロングセラー商品(主にお菓子)のパッケージデザインについて取り上げた。

授業形態は、双方向型で行った。これは美術館から授業が配信されている同時刻に大型モニターでインターネットにアクセスし、ライブで視聴ができる。リアルタイムで行うため質疑応答が可能であり、児童生徒も画面上に映し出されるため、反応も見ることができる。今回の場合は、クイズを出しそれに手を挙げて解答してもらうなどのコミュニケーションを取ることができ、さらには予め用意していた話題を別のものに変更したり、追加したりするなど柔軟な対応を取ることができた。

2 経緯

国は、全国の児童生徒に 1 人 1 台のタブレット端末と高速大容量の通信ネットワークを整備・活

用することで学習活動の充実を図ろうとする「GIGA スクール構想」を進めている。計画が発表された2019年当時は、環境整備に2023年度まで5年かける計画が、新型コロナウイルスの流行と新たな生活様式への対応を受けその動きは加速した。その結果、県内小中学校における1人1台端末の整備は2021年度までに完了し、高速大容量通信ネットワークの普通教室で活用するための無線LAN整備率も上昇するなど、学校のICT環境が急速に進展した。高等学校においても、教科「情報I」の必修修化や情報活用能力育成の重要性を踏まえ、同様の対応が取られている。

このように学校現場において美術館との新たな連携を進める土台は築かれつつある中、地理的な問題で美術館になかなか足を運ぶことが出来ない児童生徒に対し美術館とはどのような施設なのか知る機会を提供するとともに、教育機会の平等を達成するため今回オンライン授業を行った。

3 目的

オンライン授業を実施した目的は、学校教育における不平等を解消し、市内全域における教育機会の平等化を目指すためである。

2015年の国連サミットで採択された国際目標であるSDGsにおいて、4番目の目標として挙げられているのが、「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」である。質の高い教育がどのようなものを指すのかは、各国や各地域のおかれている状況により異なる。例えば、日本では義務教育制度が整っており、性別や年齢に関係なく中等教育を修了でき、読み書き能力や基礎的計算能力を身に付けることができることから、質を高めるためにはその先を見据えた取り組みが必要であると考えられる。現在、日本の教育現場では、不登校や教員の業務過多等の問題があるが、その中の一つとして、教育機会の不平等が挙げられるだろう。義務教育制度が整っている日本は、教育機会は一見平等であるかのように思えるが、地方では都会に比べ予備校や学習塾の数が少なく、学校外で勉強しようとする時の選択肢が狭いということや、先に述べてきたように同じ市内であっても学校の所在場所により、授業の中で美術館を訪れることができる児童生徒とできない児童生徒がいるといった不平等が存在する。貧困問題との関連もあり、すべての不平等を解消するまでには時間がかかるだろうが、少なくとも学校教育における不平等は早急に解消されなければならないと考えられる。

4 今後の課題と展望

- ①オンライン授業で実施する内容が学校側が求めているものと一致し、利用しやすくするため学習指導要領に沿ったものとする。そのためには、オンライン授業の計画を立てる際、学校の先生にもメンバーに入ってもらい、内容について指導・アドバイスを受けることができるような体制を整えることが望ましいと考えられる。
- ②オンライン授業を実施する学校を増やしていくためにも、積極的な広報活動を行う。実施する学校が増えれば、美術館側は経験値を積み、学校側にも満足してもらえるより質の高い授業の提供へとつながっていくと考えられる。
- ③同一学区内の同一学年であれば、同じ時間帯に同じ授業を受けることを可能にするなど、美術館対1校だけではなく、美術館対複数校といった形での実施を目指していく。

展覧会に関連する業務と並行し、オンライン授業を実施することは学芸員の負担を増やすことにつながる。しかし、他の業務の効率化を図りつつオンライン授業を継続していくことは、美術館が社会教育施設として十分に機能するためにも大切なことと考えられる。子どもの頃に美術館という存在に触れ、親しみを感じた子供たちはきっと将来の美術館利用者となるだろう。そうした点において、オンライン授業は美術館利用者のすそ野を広げることにもつながっていく取り組みだと言える。また、学芸員側にとっても児童生徒の前で話すということは、自分が担当した展覧会でのギャラリートークに通ずるものがあり、短期的には大変だが長期的視点に立った時、必ず自分の仕事に生かされてくるものだと言える。

5 参考 添付資料

(1) ワークシート① (A4二つ折り)



ワークシート② (A4)



(2) 令和6年度オンライン授業実施予定一覧

令和6年度 掛川市二の丸美術館 オンライン授業実施予定一覧

展覧会・会期	対象学年	内容	実施 時期	教科志、学習指導要領該当箇所
特別講座 掛川の歴史・文化・美術を知ろう	小学生 高校生	美術館周辺にある赤川城、御殿、大日本製薬社、竹の丸、御幸院など周辺の歴史文化遺産について紹介する。 【紹介する施設】 ① 掛川市二の丸美術館 ② 掛川市スタンドグラス美術館 ③ 掛川城・御殿 ④ 大日本製薬社 ⑤ 竹の丸 ⑥ 龍泉院	6月 9月	① 小学3年社会 市の様子一語いたてたものがある所 ② 中学校社会 第1章 第2節 「身近な地域のいきし」 ③ 総合的な学習の時間 「地域や学校の特色に志じた課題」
企画展 掛川城・高天神城・横須賀城のすべて 10月5日(土)～11月24日(日) 初会期中は、展覧会を見学することも可能です。	小6 中3	「掛川城」「高天神城」「横須賀城」の掛川三城について、成り立ちやゆかりの人々を紹介し、郷土の歴史に興味が持ってもらおう。	10月 11月	① 中学校社会 第1章 第2節 「身近な地域のいきし」 ② 総合的な学習の時間 「地域や学校の特色に志じた課題」
企画展 2024 掛川市アートフェスタ 美術館テーマ展示 『ちよつと昔の暮らし展』 11月30日(土)～1月5日(日) 初会期中は、展覧会を見学することも可能です。	小学生 高校生	身近にある生活道具や文房具、お菓子のパッケージを中心に紹介し、① 道具の変化(進化)とデザインの変遷を知ってもらう② ロングセラー商品のパッケージデザインを紹介する。	12月 令和7年2月	小学3年社会 わたしたちの市の歩み一かおる道具とくもし。 図画工作・美術
特別講座 富士山を描こう	小学生 高校生	富士山絵画の成り立ちや絵画や紙に表現されてきた富士山(浮世繪版画、文人画、牧野宗則作品、工部品)を紹介し、それぞれの心の中にある富士山を自由な発想で表現してもらおう。	令和7年2月 春ご希望があれば随時	図画工作・美術

上記は、令和6年度のオンライン授業実施予定一覧である。申込方法は、各授業の実施予定日の2ヶ月前までに申請書をFAXまたはメールで提出してもらおう形をとっている。

また、授業内容については先生方と事前に打合せを行い、可能な範囲で学校側の要望に応じる旨をオンライン授業実施予定一覧を配布した際に伝えてある。

掛川市二の丸美術館年報 **令和5年度**
掛川市ステンドグラス美術館年報 **令和5年度**

発行日 令和6年7月24日
編集・発行 公益財団法人掛川市文化財団
 掛川市二の丸美術館・掛川市ステンドグラス美術館
 〒436-0079 掛川市掛川1142-1
 TEL 0537-62-2061 FAX 0537-62-2062
印刷所 株式会社ケイ・アート
